|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 西　　暦 | 年　　号 | 干支 | 国および世界の出来事 | 酒　田　の　主　な　出　来　事　他（　事　項　） |
| ２０１４  ２０１４  ２０１４  ２０１４  ２０１４  ２０１４  ２０１４  ２０１４  ２０１４  ２０１４  ２０１４  ２０１４  ２０１４  ２０１４  ２０１４  ２０１４  ２０１４  ２０１４  ２０１４  ２０１４  ２０１４  ２０１４  ２０１４  ２０１４  ２０１４  ２０１４  ２０１４  ２０１４  ２０１４  ２０１４  ２０１５  ２０１５  ２０１５  ２０１５  ２０１５  ２０１５  ２０１５  ２０１５  ２０１５  ２０１５  ２０１５  ２０１５  ２０１５  ２０１５  ２０１５  ２０１５  ２０１５  ２０１５  ２０１５  ２０１５  ２０１５  ２０１５  ２０１５  ２０１５  ２０１５  ２０１５  ２０１５  ２０１５  ２０１５  ２０１５ | 平成２６  平成２６  平成２６  平成２６  平成２６  平成２６  平成２６  平成２６  平成２６  平成２６  平成２６  平成２６  平成２６  平成２６  平成２６  平成２６  平成２６  平成２６  平成２６  平成２６  平成２６  平成２６  平成２６  平成２６  平成２６  平成２６  平成２６  平成２６  平成２６  平成２６  平成２７  平成２７  平成２７  平成２７  平成２７  平成２７  平成１５  平成２７  平成２７  平成２７  平成２７  平成２７  平成２７  平成２７  平成２７  平成２７  平成２７  平成２７  平成２７  平成２７  平成２７  平成２７  平成２７  平成２７  平成２７  平成２７  平成２７  平成２７  平成２７  平成２７ | 甲午  甲午  甲午  甲午  甲午  甲午  甲午  甲午  甲午  甲午  甲午  甲午  甲午  甲午  甲午  甲午  甲午  甲午  甲午  甲午  甲午  甲午  甲午  甲午  甲午  甲午  甲午  甲午  甲午  甲午  乙未  乙未  乙未  乙未  乙未  乙未  乙未  乙未  乙未  乙未  乙未  乙未  乙未  乙未  乙未  乙未  乙未  乙未  乙未  乙未  乙未  乙未  乙未  乙未  乙未  乙未  乙未  乙未  乙未  乙未 | 1/15 酒田市出身の詩人吉野弘が死去。87歳、平成8年度に酒田市特別功労賞を受賞  1/19 ｽｷｰｼﾞｬﾝﾌﾟ女子のﾜｰﾙﾄﾞｶｯﾌﾟ蔵王大会高梨沙羅優勝Ｗ杯通算17勝。日本人最多記録更新  1/30 国体冬季大会少年男子１万ｍｽﾋﾟｰﾄﾞｽｹｰﾄで山形中央高の一戸誠太郎が初優勝  1/31 国体冬季大会成年男子1500ｍ小田卓郎〔早大・山形中央高出〕、少年男子1500ｍ高石悠斗〔山形中央高出〕が優勝  2/1 ﾛｰｻﾞﾝﾇ国際ﾊﾞﾚｴｺﾝｸｰﾙで二山治雄〔長野県〕優勝  2/3 橋下徹大阪市長、辞職表明。出直し選  2/9 東京都知事に舛添要一初当選  2/10 鶴岡市発行の「加茂水族館ｸﾗｹﾞﾄﾞﾘｰﾑ債」購入申し込み開始  2/14 ｿﾁ冬季五輪、ﾌｨｷﾞｱｽｹｰﾄ男子で初出場の羽生結弦(19)が同大会日本の金ﾒﾀﾞﾙ第1号  2/15 ｿﾁ冬季五輪葛西紀明(41)がﾉﾙﾃﾞｨｯｸｼﾞｬﾝﾌﾟ男子ﾗｰｼﾞﾋﾙで銀ﾒﾀﾞﾙ。冬季五輪で日本最年長ﾒﾀﾞﾘｽﾄ  2/18 鶴岡市立加茂水族館のｼﾝﾎﾞﾙﾏｰｸが決定  2/21 山形、上山両市で開かれる第69回国民体育大会冬季大会スキー競技会「やまがた樹氷国体」開幕  2/23 大相撲の元大関把瑠都のｶｲﾄ･ﾎｰﾍﾞﾙｿﾝが「やまがた特命観光つや姫大使」に任命。685人目  2/25 県議会は議員発議の「やまがた県産酒による乾杯を推進する条例」案を可決  3/1 6月14日から9月13日まで、山形県全域でﾃﾞｽﾃｨﾈｰｼｮﾝｷｬﾝﾍﾟｰﾝ〔DC〕を行う。  3/14 寝台特急「あけぼの」最終運行青森駅でｲﾍﾞﾝﾄ。44年の歴史に幕  3/16 外務省は北朝鮮による拉致被害者、横田めぐみさんの両親がﾓﾝｺﾞﾙのｳﾗﾝﾊﾞｰﾄﾙでめぐみさんの娘のｷﾑ･ﾍｷﾞｮﾝ(26)と面会を発表  3/31 ｼﾞｬﾝﾎﾞｼﾞｪｯﾄの愛称で40年以上親しまれ、「空の女王」とも呼ばれたﾎﾞｰｲﾝｸﾞ747が最後の運航  4/1 消費税17年ぶり引き上げ。5％から8％  4/6 ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ女子ﾊﾟｲｵﾆｱ初降格決定  4/9 市町村の小中学校でどの教科書を使うかを決める際の手続きを定めた改正教科書無償措置法成立。平成26年度から適用  4/10 第90回日本選手権大会競泳で、男子平泳ぎに出場した小関也朱篤選手〔鶴岡市〕が初優勝  4/13 熊本県の多良木町の養鶏場で鶏が大量死。鳥ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ。国内3年ぶり  4/16 韓国南西部、珍島沖で旅客船「ｾｳｫﾙ号」沈没事故  4/20 東京海上自動火災保険など損害保険各社は同年秋以降、任意で加入する自動車保険の保険料を引き上げる  4/29 東北電力は輸入燃料の価格変動を反映させる燃料費調整制度に基づき、6月分より電気料金を引き上げ  5/31 全国で同年初の猛署日。熱中症で2人死亡  6/1 鶴岡市立加茂水族館の開館日  6/2 東日本大震災に伴う県内の借り上げ住宅に関し、福島県からの避難者を2016年3月31日まで1年間延長  6/3 「義務教育学校」〔仮称〕の創設検討  6/4 国際青年会議所ｱｼﾞｱ太平洋ｴﾘｱ会議山形大会に秋篠宮妃紀子様と長女眞子様ご来県  6/8　桂宮宜仁親王殿下薨去、66歳  6/14 「地方創世本部」を設置表明  6/20 次世代ｴﾈﾙｷﾞｰ資源「ﾒﾀﾝﾊｲﾄﾞﾚｰﾄ」が存在する可能性がある地質構造を秋田、山形両県沖の日本海で初めて確認  6/21・22　山形で日本一さくらんぼ祭り  6/26 警備艇「はぐろ」を2014年度中に更新。大型化、高速化  6/29 山形空港開港50周年記念式典  6/29 北朝鮮は日本海へ向けてﾐｻｲﾙを2発発射  7/28 2010年ﾊﾞﾝｸｰﾊﾞｰ冬季ﾊﾟﾗﾘﾝﾋﾟｯｸ銀ﾒﾀﾞﾘｽﾄ太田渉子選手〔尾花沢出身〕に県民栄誉賞  7/31 遊佐町合併60周年記念。7 月末、加茂水族館の来場者2ヶ月間で20万人突破  8/1 政府は日本の領海の範囲を決める基点としている「国境離島」のうち名前が無かった158島の名称を決めた  8/20 広島市豪雨による土石流で75人死亡  8/27 ﾃﾞﾝｸﾞ熱、国内感染  9/20 元社民党党首土井たか子死去  9/27　御岳山噴火  10/1 東海道新幹線開業50年  10/11 皇太子殿下、全国植樹祭の式典出席のため、来県    10/16 平成25年度いじめ11万8805件過去最多  10/21 中教審は正式教科でない「道徳の時間」を教科に格上げ  10/28 米民間ﾛｹｯﾄ「ｱﾝﾀﾚｽ」打ち上げ直後に大爆発  10/31 米民間宇宙船墜落。飛行士1人死亡  11/7 ﾓﾝﾃﾃﾞｨｵ4年ぶりJ1復帰  12/13 ﾓﾝﾃﾃﾞｨｵ、天皇杯で準優勝  12/14 第47回衆院選の開票結果県内は3選挙区とも自民候補の勝利。遠藤利明、鈴木憲和、加藤鮎子  12/25 山形・秋田両県と上越の沖合で、海底の地中から次世代ｴﾈﾙｷﾞｰ資源「ﾒﾀﾝﾊｲﾄﾞﾚｰﾄ」を採取  1/4元衆議院議員で社会民主連合（社民連）書記長を務めた阿部昭吾氏が肺炎のため死去。享年86歳  1/19　文部科学省は各自治体に学校を統廃合するかどうか検討するように促す「手引」を公表    1/20 「ｲｽﾗﾑ国」ｸﾞﾙｰﾌﾟが日本人2人を殺害予告  3月　加茂水族館の村上龍男館長が勇退  3/14 北陸新幹線開業  3/14 JR奥羽本線高揃－天童間に新設された天童南駅開業  3/16 山形大医学部は、がん治療ﾈｯﾄ始動開始  3/22 大相撲春場所、白鵬34回目の優勝。史上最多記録  4/11 米ｵﾊﾞﾏ大統領とｷｭｰﾊﾞのﾗｳﾙ・ｶｽﾄﾛ国家評議会議長は59年ぶりの会談  4/12 県議会議員選挙  4/25 ﾈﾊﾟｰﾙ地震M7.8  5/17 「大阪都構想」の住民投票。否決  5/24 大相撲関脇照ノ富士初優勝、大関へ  6/17 天皇、皇后両陛下は私的な旅行で来県  6/17 選挙権年齢を「18歳以上」に引き下げる改正公選法が参院本会議で全会一致により可決、成立。70年ぶりの改革  6/21 山形選挙区選出の岸宏一参院議員が翌年夏の参院選不出馬  6/22 県ｿｳﾙ事務所9月末に廃止。  6/22 蔵王山の火口域周辺での噴火警報が解除され、蔵王ｴｺｰﾗｲﾝようやく開通  6/24 新設する五輪担当相に遠藤利明衆院議院議員（山形：上山）を起用  6/26 仏南東部ﾘﾖﾝ郊外のｶﾞｽ工場が襲撃される爆発ﾃﾛ  6/29 中国が主導する国際金融機関、ｱｼﾞｱｲﾝﾌﾗ投資銀行AIIBは創設ﾒﾝﾊﾞｰ57カ国の代表を集め、設立調印式  6/29 ｷﾞﾘｼｬ国内の銀行は営業停止  6/30 東海道新幹線内で放火2人死亡  6/30 箱根山の大涌谷で小規模の噴火。警戒ﾚﾍﾞﾙ3  7/1 地球の自転速度に標準時刻を合わせるため1日1秒長くする「うるう秒」の挿入  7/3 北朝鮮、拉致報告を延期  7/5 財政緊縮政策の受け入れについて賛否を問うｷﾞﾘｼｬ国民投票  7/7 W杯女子ｻｯｶｰなでしこｼﾞｬﾊﾟﾝ準優勝  7/16 安全保障関連法案は衆院本会議で可決  7/26 調布飛行場を離陸した小型機、民家に墜落。3人死亡  7/27 韓国福祉省は中東呼吸器症候群MERS事実上の終息宣言  8/6 広島70回目の原爆忌  8/6 人事院は平成27年度の国家公務員一般職とﾎﾞｰﾅｽを引き上げると勧告。2年連続は24年ぶり  8/9 長崎70回目の原爆忌  8/11 九州電力は川内原発1号機の原子炉を起動し、再稼働  8/12 鶴岡市の加茂水族館入館者が100万人達成  8/14 首相談話  8/15　70回目の終戦記念日  8/15 北朝鮮「平壌時間」の発表。日本時間より30分遅れ  8/20 夏の甲子園、東海大相模45年ぶり優勝  8/20 平成26年度県内主要観光地への客数が4517万人。調査開始以来最高  8/21 寝台特急ﾌﾞﾙｰﾄﾚｲﾝ「北斗星」が上野駅から最後の出発  8/22露のﾒﾄﾞﾍﾞｰｼﾞｪﾌ首相、北方領土択捉島入り  8/27 維新の党橋下徹と松井一郎顧問が離党  8/27 新国立競技場総工費上限1550億円と決定  9/1 2020年東京五輪・ﾊﾟﾗﾘﾝﾋﾟｯｸのｴﾝﾌﾞﾚﾑ撤回  9/4 山形大は工業系大学院の組織改革として  有機ｴﾚｸﾄﾛﾆｸｽ分野の研究と教育を展開する「有機材料ｼｽﾃﾑ研究科」を平成28年4月に新設  9/11 関東・東北豪雨。  川氾濫  9/14体内の3次元画像をﾘｱﾙﾀｲﾑで作成できる多軸構造の透視撮影装置を備えたﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞ手術室が山大付属病院で稼働  9/14 阿蘇斬噴火警戒ﾚﾍﾞﾙ3  9/16 ｻｯｶｰ女子の日本代表「なでしこｼﾞｬﾊﾟﾝ」の佐々木則夫監督＝尾花沢市出身＝続投  9/29 県消防防災ﾍﾘ「もがみ」の新たな機体の運行開始式  10/1 鶴岡市6市町村合併10周年  10/5 ﾉｰﾍﾞﾙ医学生理学賞に北里大学特別栄誉教授大村智氏が授与  10/5 環太平洋連携協定（TPP）大筋合意  10/6 ﾉｰﾍﾞﾙ物理学賞に東京大学宇宙線研究所所長の梶田章氏授与  10/7 第3次安倍内閣改造  10/19-20 山形で全国市町村長ｻﾐｯﾄ  10/26 ﾓﾝﾃﾃﾞｨｵ山形J2降格  10/26 東京電力は福島第1原発で、「海側遮水壁」が完成  10/30 世界体操個人総合で内村航平6連覇  11/6 会計検査院は官庁や政府出資法人に対する検査結果をまとめ、約1568億円の税金が無駄  11/7 中国の習近平国家主席と台湾の馬英九総統はｼﾝｶﾞﾎﾟｰﾙで1949年の中台分断後、初の首脳会談  11/11 国産旅客機MRJが名古屋空港で初飛行  11/13 ﾊﾟﾘ同時ﾃﾛ、128人死亡  11/20 日本相撲協会理事長第55代横綱、北の湖親方が死去  11/22 大阪府知事・市長のダブル選、大阪維新が制す  11/24 　改良型H2A　ﾛｹｯﾄ29号機、国産で初めて成功  11/27 低所得年金者1000万人に1人3万円程度給付金  11/28 ﾌｨｷﾞｱｽｹｰﾄ男子冬季五輪金ﾒﾀﾞﾘｽﾄ、羽生結弦選手300点越え世界歴代最高V  11/30 国際通貨基金〔IMF〕は人民元を翌年10月から主要通貨  12/8 中国・北京市は深刻な大気汚染に備えて初めて出した最高ﾚﾍﾞﾙの「赤色警報」  12/9 宇宙航空研究開発機構（JAXA）は金星探査機「あかつき」が軌道に入ったと発表  12/9 作家野坂昭如氏死去、85歳  12/10 ﾉｰﾍﾞﾙ賞の授賞式と晩餐会  12/21 国勢調査県人口112万2957人。戦後初めて120万を割る | １月　２日　「第２２回新年うたひの会」が松山文化伝承館で開催。（山形新聞）  　１月　５日　飛鳥神社で「裸詣り祈願祭」が行われ、下帯姿の男たちが境内を走り、家内安全や五穀豊穣を願った。（山形新聞）  　１月１１日　平田地域に広がる「悠々の杜自然歴史公園」のガイドマップが初めて完成。ウォーキングやサイクリングを楽しめるコースを紹介。（山形新聞）  　１月１１日　第５３回「私の街さかた写真コンテスト」の表彰式。〔土門拳記念館〕（山形新聞）  　１月１１日　生涯学習施設「里仁館」で「冬のおもしろ広場」が開催。昔ながらの遊びを子供たちが体験。（荘内日報）  　１月１１日～１７日　老朽化に伴い、前年１１月から解体されている光ケ丘二丁目の旧東北農政局酒田倉庫〔旧国立倉庫〕の記憶を後世に伝えようと県内の有志が撮影した同倉庫の写真展。〔酒田市総合文化センター〕（読売新聞）  １月１２日　希望ホールで成人式。新成人９６９人が出席。（酒田市広報）  １月１３日　みずほ一丁目自治会の発足３０周年を記念した祈願祭。〔みずほ一丁目自治会館〕（山形新聞）  １月１４日　酒田市出身の写真家土門拳の作品を所蔵する土門拳記念館の開館３０周年記念誌が発刊。（山形新聞）  １月１４日　女性のよる地域づくりの勉強会「女性の会ローズ」の例会。〔ガーデンパレスみずほ〕（荘内日報）  １月１７日　市は鉄道高速化講演会を開催。〔希望ホール〕（河北新報）  １月１７日　中通り商店街振興組合は「さかた街なかＰＲ館」で「広域的地域間共助メディアミックス会議」開催。（荘内日報）  １月１９日　酒田市と遊佐町の保育園や幼稚園の年長児を対象にした酒田地区園児サッカー大会。〔国体記念体育館〕（山形新聞）  １月１９日　パークセンター愛好会の雪上グラウンドゴルフ大会。〔庄内空港緩衝緑地パークセンター前芝生広場〕（荘内日報）  １月２１日　東北公益文科大学と県立産業技術短期大学校庄内校の学生を対象にした合同模擬面接会。〔公益ホール〕（山形新聞）  １月２１日　東北公益文科大学の情報科目合同成果発表会。４年生が卒論、３年生が卒論事前研究を発表。〔公益ホール〕（荘内日報）  １月２２日　県企業局は十里塚地区に建設を予定している風力発電施設について、浜中の八重浜地区で環境影響評価〔アセスメント〕を行うため、風向・風速や窒素酸化物などの測定機器を設置。（山形新聞）  １月２２日　文化財防火デーを前に、酒田地区広域行政組合消防本部は總光寺で消防訓練と立ち入り検査を行う。（山形新聞）  １月２４日・２５日　鹿児島県志布志市の児童生徒８人が松山地域を訪れ、除雪や笹巻作り、スキーなどを体験したほか、松山地域の小学生の家にホームステイ交流。（酒田市広報）  　１月２４日～２７日　沖縄県東村の６年生児童１３人が八幡地域を訪れ、一條小学校の児童との交流や八幡スキー場での雪体験。（酒田市広報）  　１月２５日　松山地域の冬の能楽として知られる「まつやま大寒能」が松山農村環境改善センターで上演。（山形新聞）  　１月２５日　酒田ユネスコ協会が主催したチャリティ音楽会「酒田ユネスコ童謡を歌う会」。〔酒田市総合文化センター〕（荘内日報）  　１月２５日　ＮＰＯ法人ひらた里山の会のフォーラム「里山資源を活かした地域づくりin庄内」がひらたタウンセンターで開催。（山形新聞）  　１月２６日　市内在住の外国出身の方が自慢の料理を販売した「世界の料理フェア２０１４」が交流ひろばで開催。台風で被害を受けたフィリピンを応援するバナナ春巻きをチャリティ販売。（酒田市広報）  　１月２６日　良食味米を生産する農業者を顕彰する、平成２５年度酒田黒びょうせん推進事業の表彰式。〔中町通商店街〕（山形新聞）  　１月２６日　消防出初め式が市消防団、酒田地区広域行政組合消防本部、市婦人防火クラブ連絡協議会などから合わせて参加しマリーン５清水屋前で行われた。（荘内日報）  　１月２９日　企業側の求める人材や新規高卒者の地元定着に向けた課題について情報共有を図る「高校生の就職の支援を考える懇談会」。〔勤労者福祉センター〕（山形新聞）  　１月３０日　ＮＴＴドコモ東北支社とＮＰＯ法人モバイル・コミュニケーション・ファンドはハタハタの保全活動やカキ殻のリサイタルを行うＮＰＯ法人港研究会に助成金５０万円を贈った。（山形新聞）  　１月３１日　酒田飽海学校保健会の平成２５年度酒田飽海学校保健功労者表彰式と酒田飽海児童生徒保健研究発表会。〔酒田市総合文化センター〕（山形新聞）  　２月　１日　中学１，２年生が団体戦で競う酒田地区柔道連盟会長杯柔道大会。（荘内日報）  　２月１日・２日　全庄内スキー選手権大会。〔松山スキー場〕（山形新聞）  　２月　２日　４５回目を迎えた酒田市民卓球大会〔国体記念体育館〕２４チーム参加。（荘内日報）  ２月　２日　青少年読書感想文全国コンクールの全国審査で平田小学校３年の富樫優さんの「勉強って楽しい！！」が毎日新聞社賞に輝いた。（毎日新聞）  　２月　２日　ガーデンパレスみずほにトヨタ自動車の高級車セダン〔クラウン〕の特別仕様車「ピンクのクラウン〔ReBORN PINK〕」が納車されお披露目。（荘内日報）  　２月　３日　農林水産省の正面ロビーに日本の伝統文化を通して農林業産出素材の魅力をＰＲする展示コーナー「和の空間」が設けられた。本市関係で松岡が製糸した高級絹糸〔松岡姫〕の反物が紹介。（山形新聞）  　２月　４日　酒田ライオンズクラブが災害直後に役立つ物資を詰め込んだ「ライオンズ・アラートボックス」を学校法人酒田幼稚園が運営する酒田幼稚園と酒田第２幼稚園に１個ずつ寄贈。（山形新聞）  　２月　４日　酒田「小さな親切」の会は厳しい寒さの中、軽装で歩いていた６０代の女性を助けたとして庄内町に勤務する佐々木亜希子さんに対し、小さな親切実行章を贈った。（荘内日報）  　２月４日・５日　酒田市米消費拡大推進協議会による「米粉パン」給食が市内６小学校で行われ、地元産はえぬきの米粉で東北日本ハムが製造している「米粉パン」を児童達が味わった。（荘内日報）  　２月　５日　旧松山町出身の哲学者・阿部次郎の生誕１３０年を記念した展示会「阿部家のひとびと～次郎とその兄弟たち」。〔松山文化伝承館〕（山形新聞）  　２月５日～８日　沖縄県今帰仁村から「ふれあい少年の翼」４５人〔児童３６人、引率者９人〕が本市を訪問。西荒瀬小と交流。（酒田市広報）  　２月　６日　「社員が安心して働ける会社づくりセミナー」が中町庁舎で開かれ、参加者が男女雇用機会均等法や育児・介護休業法の趣旨、最近の相談事例と対応策を学んだ。（山形新聞）  　２月　８日　一緒にダンスを楽しむことで親子の絆を深めようという「親子でヒップホップダンス」が酒田市総合文化センターで開催。（荘内日報）  　２月　９日　ＪＡ山形農工連〔酒田市〕は県産米「つや姫」を原料とした「塩麹の鍋つゆ」など、マルノーつゆシリーズ計４商品を新たに開発し、県内スーパーなどで販売開始。（読売新聞）  　２月１０日　ルワンダ共和国のチャールズ・ムリガンデ駐日大使と同国関係者一行が庄内バイオ研修センターを訪問。（酒田市広報）  　２月１１日　「寒鱈の魚醤造り出前講座」が酒田市総合文化センターで開かれ、市民らが魚と塩だけの材料で昔ながらの魚醤作りを学んだ。（山形新聞）  　２月１２日～１４日　食肉生産販売の平田牧場をはじめ庄内の５社が出展した「第４８回スーパーマーケット・トレードショー２０１４」が東京ビッグサイト〔東京都江東区〕で開催。（荘内日報）  　２月１２日～１４日　産業技術短期大学校庄内校の卒業研究発表会。（山形新聞）  　２月１３日　市議会の駅前周辺検討特別委員会が開かれ、市は再開発予定地の旧ジャスコ跡地を再開発計画案がまとまる迄、無料駐車場として開放する整備事業案を示した。（朝日新聞）  　２月１３日　医療を通した地域貢献などの功績により、県内の医療生協が初めて厚生労働大臣表彰を受けた酒田健康生活協同組合の受賞記念式典と祝う会。〔ホテルリッチ&ガーデン酒田〕（荘内日報）  　２月１４日　駅前商店街振興組合と大通り商店街振興組合は、商店街案内カタログ冊子「ＴＨＥ　ＭＩＳＥ〔ザ・ミセ〕」を発行。それぞれの特徴、営業内容が一目でわかる便利なガイドブックになっているほか、「酒田大火からの復興」「酒田駅今昔物語」という歴史を振り返る解説も掲載、資料としても貴重な一冊。（荘内日報）  　２月１４日　市は総額５１０億９０００万円の平成２６年度一般会計当初予算案を発表。胃がん検診にピロリ菌検査を導入するための費用７０３万円を計上。市町村の検診事業でピロリ菌検査の全額補助を行うのは県内で初めて。（読売新聞）  　２月１４日～１６日　市内の海岸に流れ着いた手紙が縁で松陵小学校と交流している沖縄県国頭村の児童が庄内地方を訪問。（荘内日報）  　２月１５日　名誉市民　中村恒也氏の寄付を活用した中村ものづくり塾〔最終回〕でロボットコンテスト。〔酒田市総合文化センター〕（酒田市広報）  　２月１５日・１７日　黒森日枝神社境内で黒森歌舞伎正月公演。（酒田市広報）  　２月１６日　白崎資金酒田市スポーツ優秀選手賞の表彰式。〔２２種目で２３３個人、２８団体〕（酒田市広報）  　２月１７日～２１日　市中心部で問題化しているカラスの大群によるフン害で、市は懐中電灯の光を使った「撃退法」を試験的に始めた。（山形新聞）  　２月１７日　黒森地区に約２８０年前から伝わる農民芸能「黒森歌舞伎」を「ダイドードリンコ　日本の祭り２０１４」の一つに取り上げ、テレビ番組として製作するため酒田市に訪れているＮＰＯ法人「日本の祭りネットワーク」副理事長の吉村作治早稲田大名誉教授らが市役所を表敬訪問。（荘内日報）  　２月１８日　県は酒田港の平成２５年の貨物取扱状況〔速報値〕を発表。全貨物量は３７９万５６６１トンで、前年比７．２％、２５万５３６６トンの増。このうちリサイクル貨物量は５３万６２９２トンで国土交通省のリサイクルポート〔総合静脈物流拠点港〕に指定された平成１５年以降初めて５０万トンを越えた。（山形新聞）  　２月１８日　天真学園高生徒会は、医療法人社団さつき会が運営する老人保健施設・明日葉に福祉用具を寄贈。（荘内日報）  　２月１９日　小林教育振興基金青少年善行奨励賞の表彰式。〔４団体と５人〕（酒田市広報）  　２月１９日・２０日　高校生の就職試験解禁〔９月１６日〕に備えようと、就職を希望する高校２年生を対象にした「就職試験開始７か月前セミナー」。〔産業会館〕〔酒田地区雇用対策協議会主催〕（山形新聞）  　２月１９日　日本税関協会東京支部と東京税関酒田地区保税会の酒田地区講演会。〔ホテルリッチ&ガーデン酒田〕（山形新聞）  　２月２０日　財団法人食品産業センターが、第３５回食品産業優良通良企業と平成２５年度優良ふるさと食品中央コンクールの受賞企業、受賞商品を発表。宮海のやすらぎ水産「日本海庄内沖・漁師の味　ハタハタの湯あげ」が国産水産品利用部門で食品産業センター会長賞に選ばれた。（荘内日報）  　２月２０日　酒田市体育協会表彰式がガーデンパレスみずほで行われ、８４人を表彰。（荘内日報）  　２月２０日　酒田市自治会連合会連絡協議会の「市政を聴く会」。〔ホテルリッチ&ガーデン酒田〕（山形新聞）  　２月２１日　映画「おくりびと」のロケ地として知られる「旧割烹小幡」が３月末で閉館。（山形新聞）  ２月２２日　酒田市青少年を伸ばそう市民会議研修会。〔東禅寺コミュニティ防災センター〕講師：遠田健一氏。（荘内日報）  　２月２２日　酒田に古くから伝わるつるし飾り「傘福」をメインにした展示会「湊酒田の傘福」が国登録有形文化財「山王くらぶ」で始まる。（荘内日報）  　２月２２日　「ボランティア・市民活動交流会」。〔新橋二丁目〕〔市地域福祉センター〕（荘内日報）  　２月２２日　日本盆栽協会酒田支部の梅花盆栽展。〔酒田市総合文化センター〕（荘内日報）  　２月２２日　第１２回利き酒選手権酒田地区予選会。〔ホテルリッチ&ガーデン酒田〕｛酒田の新酒を楽しむ会｝（荘内日報）  　２月２３日　平成２８年４月に総合型地域スポーツクラブの設立を目指している川南スポーツクラブ設立準備委員会が浜中小で、俊敏性やバランス能力などを高めるのに有効とされるＳＡＱ講習会を開催。（荘内日報）  ２月２３日　県酒田幼児音楽研究会が主催した「幼児音楽の広場」が希望ホールで開かれ、市内７つの保育園児たちが日頃の音楽活動の成果を披露した。（荘内日報）  　２月２３日　松山文化伝承館で、ワークショップ「親子で楽しむ雛まつり」が開催。（荘内日報）  　２月２３日　東北地方の優秀な食育活動を表彰する東北農政局制定「東北地域食育活動コンクール」の農林漁業体験分野で、若草幼稚園の活動「すくすく畑の堆肥作りから野菜収穫まで」が「東北地域食育推進協議会食育活動表彰審査会長賞」を受けた。（荘内日報）  　２月２３日　酒田海洋少年団の一日体験入団。〔酒田市総合文化センター〕（荘内日報）  　２月２４日　県は酒田港と韓国・釜山港を結ぶ定期コンテナ航路が増便され、３月中旬から週３便になると発表。週３便化は初めて。（山形新聞）  ２月２５日　県が本年度からスタートさせた「冬の農業活性化プロジェクト」の一環で、本県の主力花卉・アルストロメリアの周年栽培方法を学ぶ研修会。〔酒田市広岡新田〕（荘内日報）  　２月２７日　第２０回土門拳文化賞の各受賞者を発表。最高賞の土門拳文化賞に奈良市の無職山本眞弓さんの作品「風の民」が選ばれた。（山形新聞）  　２月２７日　酒田・飽海地区の小・中学生を対象に募集した「ユネスコ短歌作品」で、入賞作の表彰式。〔各校〕（山形新聞）  　２月２８日　「庄内ブロック交通事故抑止緊急対策会議」「酒田・飽海地区交通死亡事故抑止緊急対策会議」が酒田警察署会議室で開かれた。（山形新聞）  　３月　１日　酒田人権擁護委員協議会と山形地方法務局酒田支局は酒田市総合文化センターを会場に「女性のなんでも相談所」を開設。（荘内日報）  　３月１日・２日　松山農村環境改善センターで眺海の森音楽祭が開催。（酒田市広報）  　３月　１日　一輪車愛好団体「酒田ユニサルクル『ケセラ』」の演技発表会。〔市ひらたタウンセンター・シアターＯＺ〕（荘内日報）  　３月　１日　酒田港の国際競争力強化と管内全域の産業・経済の発展を目指す「酒田ポートオーソリティー検討会」の勉強会。〔産業会館〕（荘内日報）  　３月　２日　平成２６年度から東部中学校として統合する松山中学校と飛鳥中学校の吹奏楽の合同演奏。（酒田市広報）  　３月　２日　酒田ライオンズクラブから新入学児童の事故防止に役立ててとランドセルカバーを８５０枚寄贈。（酒田市広報）  　３月　２日　「おらほの酒蔵　ふれあい新酒バスツアー」が市内３つの蔵元〔楯の川酒造〔平田地域〕、麓井酒造〔八幡地域〕、松山酒造〔松山地域〕〕で開かれた。（荘内日報）  　３月　３日　庄内酒彩倶楽部は酒田市産「つや姫」を１００％使用した濁り酒「おこめのデアノイエ」つや姫純米粗濾過〔あらごし〕にごり」を発売。（荘内日報）  　３月　３日　升田地区で継承される在来野菜「升田かぶ」の再興を目指し、生産者で組織する「市八幡地域の在来野菜を守り育てる会」の検討会。〔八幡タウンセンター〕（山形新聞）  　３月　３日　山形地方法務局は長年にわたり人権意識の普及・高揚に向けた啓発活動に協力したとして、あきほ町のイオン酒田南店に感謝状を贈った。（荘内日報）  　３月　５日　気象庁気象研究所は突風探知のため前年１０月から庄内空港ビル屋上に設置していたドップラーレーダーを撤収した。（山形新聞）  　３月　４日　副市長が酒田舞娘と共に全日空本社を表敬訪問。（荘内日報）  　３月　５日　第２回県立酒田西高定時制の卒業式。〔希望ホール・４名〕（荘内日報）  　３月　６日　若者が地元に定着し暮らし続ける事の出来るまちを目指す酒田市雇用創造協議会は中町庁舎１階の同協議会セミナーで「メンタルヘルス対策セミナー」を開催。（荘内日報）  　３月　６日　山元、坂本集落に春の訪れを告げる神事「でごぐり百万遍念仏」が集落の鎮守・坂本貴船神社で繰り広げられた。（荘内日報）  　３月　９日　東北地方を中心に大きな被害をもたらした東日本大震災の発生から３年を迎えるのを前に、「酒田市東日本大震災追悼の集い」が市地域福祉センターで行われた。（荘内日報）  　３月１０日　知事が花王酒田工場を訪問。県内の元気な企業の声を聞く事を目的に実施している「知事のいきいき企業訪問」の一環。（荘内日報）  　３月１１日　マリーン５清水屋前で東日本大震災への追悼の思いを込めてキャンドル約１０００個に火が灯された。（酒田市広報）  　３月１２日　飯森山三丁目の生涯学習施設・出羽遊心館の開館２０周年を祝う「成人式・大茶会」が同所で行われ、市民らが茶道愛好者のもてなしを受けた。（荘内日報）  　３月１３日　救命胴衣の着用を呼びかけるなど、海難事故減少に貢献したとして、酒田海上保安部は県漁協女性部の８支部に感謝状を贈った。（山形新聞）  　３月１４日　酒田港と韓国・釜山港を結ぶ定期コンテナ航路が新たに開設され週３便に。（酒田市広報）  　３月１４日　市は、三川、庄内、遊佐の３町と連携する「庄内北部定住自立圏」の形成に向け「中心市宣言」を行った。（山形新聞）  　３月１４日　やまがた女みなとフォーラム「女性のための港の経営学」が山形市のパレスグランデールで開かれた。（山形新聞）  　３月１５日　庄内地域で活動する高校生バンドによるライブコンテスト「ＧＡＴＥ！２０１４」がマリーン５清水屋ミュージアムホールで開かれ、出演バンドが館内にパワフルなサウンドを響かせた。（荘内日報）  　３月１６日　飛島中学校でたった一人の卒業式があった。（朝日新聞）  　３月１７日　酒田「小さな親切の会」より全国小中学生が書いた作文集「きみのこころにありがとう」７５冊と図書「思わず泣けるいい話」１１冊が教育委員会に寄贈。（酒田市広報）  　３月１７日　酒田市農商工連携推進交流会が同市の酒田産業会館で開かれた。企業や個人が市雇用創造協議会新商品開発研究センターと共同で開発を進める米ぬかやサケ、トビウオを使った加工品３品が初めて紹介。（山形新聞）  　３月１８日　「災害時における飲料水の提供及び防災機能付自動販売機の設置に関する協定書」を本市と株式会社伊藤園で締結。酒田市総合文化センターに設置された自動販売機には、全国瞬時警報システム〔Ｊアラート〕などの情報が流れる防災無線機能が備え付け。（酒田市広報）  　３月２０日　市は人事異動を内示し、平成２６年度から新たに鶴岡市、東京都武蔵野市と人事交流を行うと発表。宮城県岩沼市への派遣は継続。（山形新聞）  　３月２１日　松山中学校閉校式。校歌斉唱、校旗返納、合唱など。（酒田市広報）  　３月２２日　亀城小学校閉校式。校歌斉唱、校旗返納、歌と呼びかけなど。（酒田市広報）  　３月２２日　飛鳥中学校閉校式。校歌斉唱、校旗返納、合唱、思い出の映像とメッセージなど。（酒田市広報）  　３月２２日　生涯学習推進事業文化講演会「世界からのメッセージ　―伝えたい、家族の絆と命の大切さ―」。〔講師：戦場カメラマン渡部陽一氏〕（酒田市広報）  　３月２３日　港南小学校閉校式。校歌斉唱、校旗返納、在校生・同窓生思い出を語るなど。（酒田市広報）  　３月２３日　第２０回土門拳文化賞授賞式。〔土門拳記念館〕（酒田市広報）  　３月２３日　酒田光陵高、酒田西高の両高校音楽部による管楽アンサンブル合同演奏会がマリーン５清水屋で開かれ、高校生が息の合った音色を披露。（山形新聞）  　３月２５日　浜中地区に公共用水域の水質保全を担う農業集落排水処理施設が完成、通水式。  　　　　　　　（酒田市広報）  　３月２６日　東北エプソン株式会社より本市の小学校児童の教育支援のためにべルマーク点数証明書が寄贈。ベルマークの寄贈は３回目。市では寄贈されたベルマークで万歩計を購入し市内小学校に貸し出している。（酒田市広報）  　３月２７日　酒田市と遊佐町の畜産農家らで組織する北庄内畜産共励会の優良生産者表彰式。  　　　　　　　（荘内日報）  　３月２８日　市水道事業を包括的に受託する「水道お客さまセンター」の開所式が水道施設管理センターで行われた。〔４月１日から業務開始〕（荘内日報）  　３月２８日　新内橋新橋供用開始。（酒田市広報）  ３月２９日　酒田青年会議所は酒田市の県漁協本部で「湊酒田ポートフォーラム」を開催。（荘内日報）  　３月３０日　ＮＰＯ法人「ひらた里山の会」は東日本大震災で流されたカキ養殖棚の再生用に無償提供するため、地元ボランティアの手で平田地域の竹林から切り出した竹２５０本を宮城県松島町に届けた。（荘内日報）  　３月３１日　米アカデミー賞外国語映画賞に輝いた映画「おくりびと」のロケ地として脚光を浴び、平成２１年から行われてきた旧割烹小幡の一般公開が終了。（荘内日報）  　３月３１日　酒田市土地開発公社が解散。（酒田市広報）  　４月　１日　市は特産品をプレゼントする「ふるさと納税」の寄付基準額を「１万円以上」に引き下げた。従来は「１０万円以上」だったが、市の特産品をＰＲする機会と捉え、積極的に推進。（山形新聞）  　４月　１日　子どもの医療費助成を拡充。小学６年生まで医療費無料。（酒田市広報）  　４月　１日　旧白崎医院〔南新町一丁目〕で、本市在住で国立大学法人立大学などの医学部に入学した３人に白崎資金医学振興奨励金を贈呈。（酒田市広報）  　４月　１日　女性グループ「女性の会ローズ」は節目の第５０回会合を移動例会として実施。酒田市美術館や東北公益文科大学などを巡り、見識を深めた。（荘内日報）  　４月　２日　花王株式会社酒田工場〔大浜二丁目〕は紙おむつの新工場の竣工式。（酒田市広報）  　４月　３日　東部中学校開校式。校歌斉唱、生徒喜びのことば、砂越神楽など。（酒田市広報）  　４月　４日　亀ケ崎小学校開校式。校歌斉唱、児童喜びのことば、亀ケ崎八幡神社獅子舞など。（酒田市広報）  　４月　５日　市から移管を受け、社会福祉法人「本楯たちばな会」が運営することになった本楯保育園の開園・入園式、送迎バスも披露。（荘内日報）  　４月　７日　酒田地区広域行政組合消防本部は、消防協力者として市内の６人に感謝状を贈った。（山形新聞）  　４月　９日　酒田地区広域行政組合消防本部は、無火災１０００日を達成したとして上田コミュニティ振興会を表彰。（山形新聞）  　４月１０日　酒田看護専門学校の入学式が行われ、第５回生３０人が入学した。（酒田市広報）  　４月１０日　ＪＡバンクを通して庄内みどり農業組合から本市に小学校高学年用の補助教材として「農業とわたしたちのくらし」児童用１１００冊、教師用４９冊が寄贈。（酒田市広報）  　４月１０日　酒田市地域おこし協力隊として五十嵐麟太郎さん〔新潟県出身〕に委嘱状を交付。（酒田市広報）  　４月１１日　東北公益文科大学は理事会を開き、前秋田大学長の吉村昇を新学長就任に決めた。任期は２年間。（山形新聞）  　４月１１日　悪徳商法被害を未然に防いだとして、酒田警察署は酒田駅郵便局の３人に感謝状を贈った。（山形新聞）  　４月１１日　酒田警察署の「高齢者交通安全指導員」の委嘱状交付式。〔酒田警察署〕（荘内日報）  　４月１１日　観光振興に役立ててもらおうと、荘内ガスは市に観光用自転車２０台を贈った。今回の贈呈分を含め総数は３１５台。（荘内日報）  　４月１２日　酒田海洋少年団の入団式・進級式が酒田海洋センターで行われた。４人の新入団員は真新しい制服に身を包み敬礼。式終了後、酒田海上保安部の巡視船「べにばな」の体験航海。（酒田市広報）  　４月１３日　４９回目を迎えた酒田市クロスカントリー大会。〔光ケ丘公園内〕（荘内日報）  　４月１３日　家庭倫理講演会「家庭のちから」がガーデンパレスみずほで開催。（山形新聞）  　４月１４日　東北公益文科大学の学生達がＪＲ酒田駅を訪れ、山形ＪＣ東日本担当職員らと初の合同企画会議を開き、観光客らの案内などを行う「酒田おもてなし隊」〔仮称〕の設立に合意。（荘内日報）  　４月１５日　児童と警察犬が一緒に下校する防犯パトロールが南平田小学校で始まった。酒田警察署管内を皮切りに、山形、天童両警察署でも同様の防犯パトロールを実施。（山形新聞）  　４月１６日　ＪＡ庄内みどり、市内の米生産者、すし店など水稲品種〔ササニシキ〕を越えるすし好適米を探求する「寿司〔すし〕米研究会」を発足。（山形新聞）  　４月１６日　平田牧場グループの新田嘉一会長は自らの半生を一冊にまとめた「『平田牧場』新田嘉一物語～夢を追い続け８０年　公に生きた志」１００冊を酒田市教育委員会に寄贈。（荘内日報）  　４月１８日・１９日　第１４回北前船寄港地フォーラムin秋田・土崎。（荘内日報）  　４月１８日　亀ケ崎五丁目にある亀ケ崎十一面観音堂の春の祭典。（荘内日報）  　４月１９日　生涯学習施設「里仁館」の平成２６年度講座がスタート。初回は特別公開講座として、前田製管相談役の前田直己氏が創業者で、県議会議長や酒田商工会議所会頭を務め、庄内空港の建設に情熱を注いだ父・故巌さんについて語った。（山形新聞）  　４月１９日　酒田市公益活動支援補助金の公開プレゼンテーションが酒田市総合文化センターで開かれ、９団体が活動をアピール。（山形新聞）  　４月１９日　酒田ユネスコ協会主催の「被災地応援講演会」が酒田市総合文化センターで開かれた。（荘内日報）  　４月２０日　松山地域の中北目集落に古くから伝わる中北目神楽が同集落の皇大神社で奉納・上演。庄内各地に残る神楽の原型ともされる勇壮・優雅な天狗舞と活発な動きの獅子舞で、五穀豊穣や家内安全を祈願。（荘内日報）  　４月２０日　酒田市観光物産館「山居倉庫”酒田夢の倶楽”」の開館１０周年感謝の夕べが同館食事処「芳香亭」で行われた。（荘内日報）  　４月２０日　天童市スポーツセンターで開かれた日本空手協会県本部主催「第３２回拳空手道選手権大会」で、北新橋一丁目のスポーツ施設・クロスラインの空手教室所属選手が形・組手計１５部門の内８部門で優勝、総合優勝。（荘内日報）  　４月２１日　県遊技業協同組合は酒田市防犯協会連合会に防犯パトロールなどで着用するウインドブレーカーを１００着贈った。〔ホテルリッチ&ガーデン酒田〕（山形新聞）  　４月２３日　升田の「玉簾の滝」を題材にした絵はがきセット「名勝　玉簾の滝を訪ねて」が完成、発売。（山形新聞）  　４月２４日　無火災２０００日を達成したとして、酒田地区広域行政消防組合は飛島地区を表彰。（山形新聞）  　４月２４日　事業所を対象にした高校生の地元就職率向上対策セミナーが、酒田産業会館で開かれた。（山形新聞）  　４月２４日　庄内海浜県立自然公園内にある十里塚地区の海岸に、県と市が風力発電機を３基ずつ建設する計画に関し、市は環境影響評価〔アセスメント〕のうち、降下ばいじんの測定をスタート。〔来月２２日まで採取〕（荘内日報）  　４月２５日　酒田地区医師会はガーデンパレスみずほで総会。４期８年務めた本間清和会長が退任、後任に日本海総合病院理事長・病院長の栗谷義樹が就任。（荘内日報）  　４月２６日　旧ジャスコ跡地の暫定駐車場オープン記念イベント。駅前商店街テント市開催。  　　　　　　　（酒田市広報）  　４月２８日　会計コンサルタント業ゆう商事の林有一郎代表は管理会計と財務会計を統一した損益分岐点図を利用する「標準原価計算会計方法」を考案し、米国特許商標庁特許認定を受けた。（山形新聞）  　４月３０日　本市出身の渡邉孝がカンボジアのバレーボール男子ナショナルチーム監督就任の報告で表敬訪問。日本人初めての監督で５月中旬に就任。（酒田市広報）  　５月　２日　客船「にっぽん丸」市民見学会。日本一周クルーズの寄港地の一つとして酒田北港古港埠頭に入港。（酒田市広報）  　５月　７日　本市と友好都市の東京都武蔵野市は、本年度から相互の職員は県が行われ、派遣された職員が本市に着任。（酒田市広報）  　５月　９日　平成２６年度山形デスティネーションキャンペーン酒田推進協議会総会〔酒田産業会館〕６月１４日～９月１３日に開催される同キャンペーンに向け、関係機関が連携して観光客の誘致に取り組むことを確認。（酒田市広報）  　５月２４日　旧飽海郡平田村出身で構成されている首都圏ふるさと平田会では第３０回年度総会を開催。〔東京上野・東天紅〕（荘内日報）  　５月２５日　春季消防演習が北港緑地公園多目的広場で実施。市内消防団員約１０００人が集合。（酒田市広報）  　５月２５日　松山地域の出身者でつくる「東京松山会」の総会・懇親会が東京都千代田区の東京グリーンパレスで開かれた。（荘内日報）  　５月２８日　着物の着付けで最も権威があり、指導者への登竜門と言われる「千葉益子賞花嫁着付全国コンクール」で酒田市の美容師佐藤ひとみさんが最高賞の第１席に輝いた。（山形新聞）  　５月２９日　庄内空港で愛称お披露目式。新愛称「おいしい庄内空港」。（酒田市広報）  　５月２９日　宝くじ文化公演ウィーン少年合唱団２０１４日本公演。（酒田市広報）  　５月３０日　酒田地区交通安全協会の総会がベルナール酒田で開かれ、交通安全に功績があった個人・学校を表彰した他平成２６年度重点対策などを決定。（荘内日報）  　５月３０日　天真学園で、食事会「春の味覚フェア」が開かれた。地域住民や東日本大震災の被災者を招待。（荘内日報）  　５月３１日　元プロ野球選手が講師を務める「ＪＡ全農ＷＣＢＦ〔世界少年野球推進財団〕  少年野球教室」が光ケ丘野球場で開かれた。（山形新聞）  　５月３１日　山形県子ども会育成連合会〔県子連〕の総会が酒田市総合文化センターで開催。  　　　　　　　（荘内日報）  　５月３１日　知的障害者６人によるプロの太鼓集団「瑞宝太鼓」の公演会「幸せの太鼓を響かせて東北公益文科大公益ホールで開かれた。（荘内日報）  　６月　４日　酒田市老人クラブ連合会の体育レクリエーション大会・ねたきりゼロ運動推進大会が光ケ丘陸上競技場で開かれた。（山形新聞）  　６月　４日　県内は高気圧に覆われて晴れ渡り、庄内を中心に気温が上昇。酒田の最高気温は３１．６度を観測し同年一番の暑さになった。（山形新聞）  　６月　６日　パラリンピック走り幅跳び選手で２０２０年東京五輪の招致に貢献した佐藤真海さんが第二中学校で講演。（読売新聞）  　６月　６日　酒田地区防災協会定例総会。〔ホテルリッチ&ガーデン酒田〕（荘内日報）  　６月　６日　県と市は住民税の徴集対策として、県職員が市職員の身分を持ち、財産の調査や差し押さえなどを市職員と共同で行う併任制度を導入すると発表。（山形新聞）  　６月　７日　酒田東ロータリークラブは、市にアジサイ１２種１２０株を寄贈、飯森山公園「アジサイ園」に植樹。（荘内日報）  　６月　７日　「サイエンス教室」が酒田光陵高で開かれた。（荘内日報）  　６月　７日　宮内の日向川でコクチョウ２羽が確認。（山形新聞）  　６月　８日　酒田港袖岡埠頭でいか釣り漁船団出航式。（酒田市広報）  　６月　８日　ＮＰＯ法人・あらた主催の日曜そよ風クラブ「みんなのほほえみコンサート」が世代交流館「あらた」で開かれた。（荘内日報）  　６月　８日　八幡地域出身者でつくる「庄内やわた会」の平成２６年度総会・懇親会が東京都北区の文化施設「北とぴあ」で開かれ、同郷の絆を深めた。（荘内日報）  　６月　８日　酒田飽海地区安全運転事業主会の総会。〔ホテルリッチ&ガーデン酒田〕（荘内日報）  　６月　８日「みなと酒田トライアスロンおしんレース」の運営費に充ててもらおうと、居酒屋「三代目兵六玉」は大会実行委員会に寄付金を贈った。（山形新聞）  　６月　９日　危険物安全週間の活動として酒田地区危険物安全協会と酒田地区広域行政消防本部は管内３市町の幹線道路で車両による防火パレード。（荘内日報）  　６月　９日　赤ちゃんと母親が学校を訪問し、生徒たちと触れ合う酒田市教育委員会主催の「赤ちゃん登校日－未来のパパ・ママへ―」の取り組みが第一中学校で行われた。（荘内日報**）**  　６月１３日　どぶろく製造の酒田醗酵は本社と醸造所を新橋四丁目から遊佐町藤崎の遊佐工業団地内に移転。（山形新聞）  　６月１３日　日本酒と庄内の旬の食材を使った料理に舌鼓を打つ「初孫の酒を楽しむ会」〔１６回目〕が酒田産業会館で開かれた。（山形新聞）  　６月１３日　「Di Nuovo～そして再び」と銘打ち、希望ホールで行われた同市在住の声楽家川田麻美のリサイタルを主催した実行委員会は、収益金の一部を酒田、遊佐、庄内３市町などに寄贈。（荘内日報）  　６月１３日　特殊詐欺被害を防ごうと酒田警察署は、年金支給日などで広報活動を行う「振り込め詐欺ふせぎ隊」に警察官ＯＢを委嘱。（山形新聞）  　６月１４日　山形デスティネーションキャンペーン〔山形ＤＣ〕の始まり。９月１３日まで。本市でも複数の会場でオープニングイベント。（酒田市広報）  　６月１４日　羽州庄内松山城薪能は、雨のため松山農村環境改善センターで開催。狂言「千鳥」、能「大江山」が上演。約２００人の観客が訪れ、３００年の伝統ある松山能の幽玄な世界を堪能。（酒田市広報）  　６月１５日　小牧川沿いで、地元自治会で組織する「ほたるに逢える小牧川の会」のメンバーらが清掃活動を展開。（荘内日報）  　６月１５日　第２９回みなと酒田トライアスロンおしんレースが酒田北港一帯で開かれた。県内、東北地域はもとより全国各地からエントリーした”鉄人”たちがと力の限界に挑んだ。（荘内日報）  　６月１６日　陸上の第６９回東北高校総体で、女子２００ｍは酒田南高、佐藤日奈子選手が初優勝。前日に１００ｍと合わせ２冠。（河北新報）  　６月１６日　市が中心市街地の活性化とにぎわい創出を図ろうと空き店舗を活用して設置した「チャレンジショップ『フレッシュ』」が中町二丁目のマリーン５清水屋前の空き店舗にオープン。（荘内日報）  　６月１７日　酒田光陵高環境技術科１年生が、庄内地域の公共工事現場を巡り、最新の土木技術に触れて社会基盤整備の重要性などを学び取った。国土交通省酒田河川国道事務所と県建設業協会酒田支部が実施。日本海東北自動車道〔日沿道〕や市の新市庁舎建設現場４カ所を訪問。（山形新聞）  　６月１８日　酒田港と韓国・釜山港との間で今春、新たに就航した長錦〔チャングム〕商船〔韓国・ソウル〕もコンテナ船が大型化。２０日初寄港。（山形新聞）  　６月１８日　県内唯一の情報系専門学科がある酒田光陵高は、東京電機大学情報環境学部と高大連携教育に向け協定を締結。（山形新聞）  　６月１８日　酒田東高の昭和２９年卒業の首都圏在住者でつくる街歩きグループ「東京ふくの会・歩こう会」が１００回目の活動を記念して地元酒田を散策。（山形新聞）  　６月１８日　酒田市ロータリークラブは松山子育て支援センターに絵本２９冊を贈った。（山形新聞）  　６月２０日　酒田湊ロータリークラブは市内の全小学校に自然保護についての図書「地球守れ　めざせ！エコクイズマスター　自然保護クイズ」２８冊を贈った。（山形新聞）  　６月２０日　酒田港の「赤灯台」〔高さ約１６ｍ〕は延長工事が終了した同港南防波堤の先端部に移設。（山形新聞）  　６月２０日　車両販売のプロの視点で交通安全を呼び掛けてもらおうと、酒田警察署は県自動車販売店交通安全対策推進協議会酒田地区協議会の加盟ディーラー１４社の販売員１７人を「交通安全アドバイザー」に委嘱。（荘内日報）  　６月２１日　台町と映画を愉しむ会。〔港座〕（酒田市広報）  　６月２２日　酒田市出身のシンガーソングライター、枝璃〔えり〕貴子〔都内在住〕のギター弾き語りコンサートが酒田市総合文化センターで開かれた。（荘内日報）  　６月２２日　第１１回希望いっぱいコンサート「希望いっぱいコンサート」希望ホールで開催。（酒田市広報）  　６月２２日　本間家別邸母屋「清遠閣」で茶会が開かれた。（荘内日報）  　６月２３日　酒田光陵高情報科が文部科学省のスーパー・プロフェッショナル・ハイスクール〔ＳＰＨ〕　の指定を受け、県庁で指定書の伝達式。（荘内日報）  　６月２３日　庄内空港が４時間閉鎖。航空大学校分校の訓練用小型機の左翼下タイヤが着陸直後にパンクしたため。（山形新聞）  　６月２３日　梅干しや梅酒、梅酢など、主に加工用として好評を得ている松山地域の特産「おばこ梅」の出荷目ぞろい会がＪＡ松山庄内みどり集出荷場で行われた。  　　　　　　　（荘内日報）  　６月２４日　庄内浜クリーンアップ作戦が十里塚海岸でスタート。（山形新聞）  　６月２６日　酒田港から西方約１６キロの海上でイカ釣り漁船「福昇丸」がコンテナ船と衝突。（山形新聞）  　６月２７日　「希望ホール」自主事業　海上自衛隊東京音楽隊庄内演奏会酒田公演。（酒田市広報）  　６月２７日　光ケ丘プールのうち屋外にあるメインプール〔５０ｍ〕で水が抜けるトラブルがあり、同日予定だった県高校総合体育大会競泳競技が延期。（荘内日報）  　６月２７日　認知症を理解し、患者や家族を地域全体で見守って支援する「認知症サポート」の養成講座。〔酒田警察署〕（荘内日報）  ６月２８日　上野千鶴子講演会―あなたはひとり家で最期を迎えられますか―。〔酒田市公益研修センター〕（酒田市広報）  　６月２８日・２９日　山形デスティネーションキャンペーンに合わせて「ＳＬ山形ＤＣ架け橋号」が酒田駅―村上駅で運行。（酒田市広報）  　７月　２日　飯森山公園アジサイ園で初のライトアップ。７月１３日までの毎夜１０時まで。（毎日新聞）  　７月　３日　希望ホール開館１０周年。（酒田市広報）  　７月　４日　酒田産業会館で酒田看護専門学校の宣誓式。（酒田市広報）  　７月　４日　県自動車整備振興会酒田支部女性部会「四季の会」の創立１０周年記念式典。〔ホテルリッチ&ガーデン酒田〕（山形新聞）  　７月　５日　酒田市名誉市民で東北エプソンの相談役を務める中村恒也氏による寄付金を活用した「チャレンジものづくり塾」が開講。〔酒田市総合文化センター〕（荘内日報）  　７月　６日　第４２回酒田市民体育祭。〔光ケ丘陸上競技場〕（酒田市広報）  　７月　７日　酒田希望音楽祭２０１４新日本フィルハーモニー交響楽団コンサート。（酒田市広報）  　７月　８日　産業競争力強化法に基づき、市が創業支援事業者と共に国に申請していた「創業支援事業計画」が認定されたことを受け、同計画の中核を担う市創業促進協議会が設立。（荘内日報）  　７月１１日　東中の口町のラーメン店「満月」は仙台市中心部に支店第１号となる仙台定禅寺店をオープン。（河北新報）  　７月１２日　豪華客船「にっぽん丸」が北海道クルーズのため本県を中心に約５２０人のツアー客を乗せて酒田北港を出港。（山形新聞）  　７月１２日　松山スキー場に人工ゲレンデがオープン。〔１１月３０日まで営業〕（酒田市広報）  　７月１６日　個人住民税の徴収率を上げるため、県と市は県職員と市職員の身分を持ちながら税を徴収する「併任制度」を県内で初めて開始。（読売新聞）  　７月１７日　消防体制の強化に向けて市は、耐震性能不足の上に津波浸水予測区域に位置している酒田地区広域行政組合消防署を移転・改築する方針を決め、これを合わせて東、西分署を再配置する等、整備や配置に関して有識者から意見を聞く市消防施設配置等検討会の初会合。（荘内日報）  　７月１８日　自動車安全運転センター〔東京都千代田区〕が制定する優秀安全運転事業所表彰で、酒田地区広域行政組合消防本部が表彰基準最高位の「プラチナ賞」を受賞。同本部で伝達式。（荘内日報）  　７が１８日　市は丸山至副市長を本部長、各部長を本部員とする庁内横断組織「人口減少問題対策本部」を設置し第１回会議を開催。（毎日新聞）  ７月２０日　仏パリなどの路上で目にする「オープンカフェ」を商店街活性化の起爆剤にしようと、中通り商店街の有志が県内で初めて実施。（読売新聞）  ７月２３日　「安全と安心のまち酒田　市民大会」希望ホールで開催。（酒田市広報）  ７月２３日～３０日　中国黒竜江省の生徒・学生１２人が東北公益文科大学を研修旅行で訪れる。（荘内日報）  　７月２６日　松山地域の眺海森の外ステージで、ＬＩＶＥ　ＷＯＲＬＤ　in眺海の森が開催。（酒田市広報）  　７月２６日　海の日にちなみ酒田港本港地区で行われた「２０１４みなとオアシスまつり」。働く船公開、カレーフェスタ、県内キャラクターとの撮影会、海の生き物タッチプール、浜焼きなど。（酒田市広報）  　７月３０日～８月４日　姉妹都市ジェレズノゴルスク・イリムスキー市の使節団１０人を迎え、両市の一層の相互理解と友好を深めた。ペルフィ―ロフ副市長を団長とする使節団は市役所を表敬訪問。（酒田市広報）  　７月３１日　羽越本線開通９０周年記念列車が、新潟市から本市まで運行。（酒田市広報）  　７月３１日　人口減少の大きな要因である少子化問題への対策として、各ライフステージにおける支援活動の実践者による酒田市少子化総合対策懇話会を開催。（酒田市広報）  　８月　２日　酒田港まつりのメインイベント「酒田花火ショー」。（荘内日報）  　８月２日・３日　海上自衛隊護衛艦「はまぎり」「やくしま」一般公開・体験航海。〔酒田北港古湊埠頭〕（酒田市広報）  　８月　６日　飛島に、新たに公衆トイレを設置、供用を開始。（荘内日報）  　８月　６日　市の行政情報や防災対策、観光、文化などをまとめた市民便利帳「さかた手帳」の改訂版が完成し市内の全戸と全事業所に無料で配布。（山形新聞）  　８月　７日　庄内北部定住自立圏形成推進会議が開催。酒田市、三川町、庄内町、遊佐町の区域に圏域として必要な都市機能や生活機能を確保し安心して暮らせるように協定を結び様々な取り組みを行っていく。（酒田市広報）  　８月　７日　平成２０年の北京五輪陸上走り幅跳びに出場した酒田市出身の井村久美子〔旧姓池田〕選手を招いた陸上教室。〔光ケ丘陸上競技場〕（荘内日報）  　８月　９日　妙法寺境内で「七曲り古本市」開店。（荘内日報）  　８月９日・１１日　市水道局が主催した「親子水道体験教室」。〔小牧浄水場〕（荘内日報）  　８月１０日　平成２７年度からの介護保険制度見直しを前に、新しい地域支援の在り方を考えるフォーラム。〔公益ホール〕（山形新聞）  ８月１１日　（株）資生堂執行役員常務、関根近子氏は、酒田ふるさと観光大使を引きうける。（酒田市広報）  ８月１１日　平成２８年に本県で開催される「第３６回全国豊かな海づくり大会」の主要行事となる式典会場が「希望ホール」に決定。（荘内日報）  　８月１２日　升田の玉簾の滝で、夜間のライトアップ開始。１９日までの毎晩。（荘内日報）  　８月１４日　除雪ドーザーなどが並ぶ「中町夏まつり」が中通り商店街を主会場に行われた。（山形新聞）  　８月１４日　八幡地域の夏祭り、平田地域の庄内ひらた目ん玉まつりが開催。（酒田市広報）  　８月１６日　平和推進事業「手と手をつなごう平和のつどい」が酒田市総合文化センターホールで行われ、フリーアナウンサーの生島ヒロシ氏が「言葉のチカラ―父から聞いた戦争体験と平和」のテーマで講演。（荘内日報）  　８月１６日　庄内交通が所有する「レトロバス」が「ふれあい夏祭り」が行われた一条地区を巡回、地区民を送迎。（荘内日報）  　８月２０日　松山地域の皇大神社で「月の能」奉納。（酒田市広報）  　８月２１日　元酒田市長相馬大作氏死去。享年８５歳。２６日葬儀。（酒田市広報）  　８月２２日　ホテルリッチ&ガーデン酒田で新品種の枝豆「あねちゃまめ」と枝豆の香りがする米「酒田まめほの香」のデビュー試食会。（酒田市広報）  ８月２４日　１０回目の節目を迎えた県洋舞協会による「洋舞合同公演」が希望ホールで開催。県内外の洋舞団体の会員が日頃の練習成果を披露。（荘内日報）  　８月３０日　大地震を想定した災害対拠合同訓練が飛島で行われ、万一に災害に備えて防災意識を高めた。（山形新聞）  　９月　１日　酒田市創業支援センターを酒田産業会館１階に開設。（酒田市広報）  　９月　１日　酒田市では省エネルギーの推進、低公害車の導入促進などの一環として、公用車にＬＰＧハイブリッド自動車を導入。県内自治体では初めての導入。（酒田市広報）  　９月　１日　日本対がん協会は平成２６年度の同協会賞受賞者を発表し、前酒田地区医師会長の本間清和氏を含む全国４個人１団体が選ばれた。（山形新聞）  　９月　３日　県ソフトボール協会理事長などを務める佐藤重孝氏〔６９〕＝寺田＝日本ソフトボール協会審判委員長就任と、県協会記録委員長などを担う石渡伸一氏〔６７〕＝大町＝日本協会功労賞受賞を祝う会。〔ル・ポットフ―〕（荘内日報）  　９月　５日　北前船と酒田の歴史・文化について考察することで、「酒田の未来」を探る「北前歌舞伎祭シンポジウム」。（荘内日報）  　９月６日・７日　東北地方にある７７の青年会議所〔ＪＣ〕　の会員が一堂に集う「東北青年フォーラムin湊町酒田」。〔希望ホール〕（荘内日報）  　９月　９日　「山居倉庫」に平成１６年４月オープンした酒田市観光物産館「酒田夢の倶楽」の入館者が７００万人達成。（朝日新聞）  　９月１２日　第５０回「酒田創意工夫展」。〔酒田市勤労者福祉センター〕（荘内日報）  　９月１２日　大型客船「ぱしふぃっくびいなす」が出発、１５日酒田寄港。（山形新聞）  　９月１２日　県商工会議所女性会連合会の第３０回通常総会〔ガーデンパレスみずほ〕で開かれ、記念講演で遊佐町出身の池田章子ブルドックソース社長〔酒田西高出〕が講演。（荘内日報）  　９月１３日　陸羽西線１００年記念式典。（酒田市広報）  　９月１４日　「出羽庄内文化遺産フォーラム」。〔公益研修センター〕（荘内日報）  　９月１４日　「酒田市民芸術祭」〔希望ホール〕９個人１団体が表彰。（荘内日報）  　９月１４日　酒田駅１００周年・陸羽西線１００周年記念事業。〔ル・ポットフ―〕（酒田市広報）  　９月１９日　元市長故相馬大作氏に特別名誉市民の称号を贈る。（荘内日報）  　９月２０日　酒田・北区ふれあい農業体験事業で、東京都北区立袋小学校５年生２１人が広野地区を訪問。（酒田市広報）  　９月２１日　「第５３回県少年の主張大会―いま伝えたい私のメッセージ」が山形国際交流プラザで開かれ、「唄い継ぐ想〔おも〕い」と題して発表した第六中学校３年菅原すみれさんが最優秀に輝いた。（山形新聞）  　９月２２日　文化遺産を活かした地域活性化事業　北前歌舞伎祭　中村勘九郎・中村七之助  特別公演・黒森歌舞伎公演。〔希望ホール〕（酒田市広報）  　９月２４日　国際協力機構〔ＪＩＣＡ〕の青年海外協力隊員として２年間南米・ボリビアの病院に看護師として派遣される五十嵐志穂が市役所を表敬訪問。（荘内日報）  　９月２５日　ホテルリッチ酒田の最上階に新設する予約制の多目的ダイニング「ＬＡＮＤＭＡＲＫ〔ランドマーク〕の発表会。２３日よりオープン。（山形新聞）  　９月２６日　市はマリーン５清水屋５階に「さかた婚活情報局『Ｒｉｎｇ』」を開設。（荘内日報）  １０月　４日　東北公益文科大学硬式野球部は、所属する南東北大学野球部連盟の１部秋季リーグで初優勝を飾った。（荘内日報）  １０月　４日　亀ケ崎八幡神社獅子舞保存会のメンバー２０数人が宮城県女川町の仮住宅を回って獅子舞を披露。〔４年目〕（朝日新聞）  １０月４日・５日　入れ歯に頼ることなく生涯にわたり自分の歯で過ごせるよう、口の中の健康を守り育てることを目的にしている全国の歯科医療従事者が一堂に会するセミナー「２０１４オーラルフィジシャン・チーム開幕。〔希望ホール〕（荘内日報）  １０月　４日　先端技術が大集合！「さかた産業フェア２０１４」〔市体育館〕（酒田市広報）  １０月　５日　「空の日」〔９月２０日〕にちなんだ「おいしい庄内空港２０１４空の日フェスタ」。（荘内日報）  １０月　６日　第２１回日本リトルシニア野球全国選抜大会に出場する酒田リトルシニアの選手及び関係者が市長を表敬訪問。（酒田市広報）  １０月　８日　「景観まちづくりシンポジウム―酒田　これからのみなとまちづくり」が公益ホールで開かれ、地元内外の関係者によるパネルディスカッション。（荘内日報）  １０月１１日　若いカップルを対象に、出産や子育てについて学ぶ「ふたりで考える未来デザイン講座」。〔酒田市民健康センター〕（荘内日報）  １０月１１日　旧西荒瀬村藤塚生まれの思想家・大川周明をしのぶ碑前祭りが下日枝神社境内に立つ顕彰碑前で行われた。（荘内日報）  １０月１３日　自転車に乗って酒田市内を走り、酒田の魅力を感じてもらうイベント「２０１４ツールドＳＡＫＡＴＡチャリでＧＯＧＯ酒田再発見」が同市の東北公益文科大学を発着点とする約１７キロのコースで開催。（山形新聞）  １０月１３日　酒田市土門拳文化賞２０周年記念写真展。〔酒田市美術館〕（山形新聞）  １０月１５日　ロシア・ハバロフスク市の行政・報道関係者が本市を訪れ、表敬。（酒田市広報）  １０月１５日　鳥海山の初冠雪を観測。前年より１日遅い。（荘内日報）  １０月１５日　最上川スワンパークに冬の使者・白鳥が大挙訪れた。（荘内日報）  １０月１７日　長崎県で開催されている国民体育大会「長崎がんばらんば国体２０１４」ボクシング成年ミドル級決勝で高橋諒選手〔旧酒田工業校出身〕が判定勝ちを収め、前回大会に続き優勝２連覇を達成。（山形新聞）  １０月１８日　電気設備工事・設計・施工などの「三栄電気工業」は、同社周辺で清掃奉仕活動を行った。（荘内日報）  １０月１９日　第３回酒田シティハーフマラソン大会－酒田つや姫マラソン―。（酒田市広報）  １０月１９日　「田沢川ダムまつり」開催。（荘内日報）  １０月１９日　日本舞踊の団体による「さかた踊りを楽しむ会」開催。〔希望ホール〕（荘内日報）  １０月２０日　農機具販売の南東北クボタによる県産米の酒田港輸出初出荷式。シンガポールと香港に向け出発。〔酒田海陸運送定温倉庫内〕（荘内日報）  １０月２２日　山形労働局は労働災害防止や安全衛生水準の向上に努めた事業場などに対する山形労働局長表彰の受賞事業場を発表。砂越のメカニックが奨励賞を受賞。（荘内日報）  １０月２８日　八幡地域の幼児や住民を対象にした「あそびうたコンサートin やわた」。〔一條コミュニティセンター〕（荘内日報）  １０月２９日　庄内文化賞〔白畑晋〕・阿部次郎文化賞〔土田貞典〕表彰式。〔出羽遊心館〕（酒田市広報）  １０月２９日　酒田大火の発生に合わせ、市の防火体制強化の一環で訓練を実施。災害対策本部の立ち上げに特化した訓練は初。（荘内日報）  １０月３０日　市の中学生海外派遣事業「はばたき」の出発式。中学２年生２２人が米国オハイオ州に向け出発１１月８日まで９泊１０日の日程。（荘内日報）  １０月３１日　公益のまちづくり賞贈呈式。〔遠田三夫、西田恒雄、三十六区官軍墓地を守る有志、進藤雪を捨てる会〕〔市役所〕（酒田市広報）  １１月　１日　南遊佐地区の教育・地域づくりの拠点施設「ふれあいセンターマイ夢の里」の開設２０周年記念イベント。（荘内日報）  １１月　１日　市内の管工事業者でつくる酒田管工事協同組合は市内の公園３０カ所で水飲み場やトイレなど水回り設備を点検・修理するボランティア活動。平成１９年に組合設立３０周年記念事業として同組合青年部が中心になって始め、以後継続。（荘内日報）  １１月　１日　鳥海八幡中学校で深海６５００ｍまで潜れる有人潜水調査船「しんかい６５００」のパイロット石川暁久氏が講演。（山形新聞）  １１月　１日　農業委員会総会〔ホテルリッチ&ガーデン酒田〕会長に五十嵐直太郎。（荘内日報）  １１月　１日　酒田光陵高は群馬県の高崎商科大と高大連携協定調印式。高校生は将来公認会計士や税理士の資格取得を目指す。（山形新聞）  １１月　４日　全国保険会社でつくる日本損害保険協会は、市に小型動力ポンプ付き軽消防自動車〔ポンプ積載車〕１台寄贈。飛島の市消防団第５分団に配備。（荘内日報）  １１月　４日　県は同年の酒田港の国際コンテナ取り扱い量が、１０月末時点で１万７１４ＴＥＵ〔２０フィートコンテナ換算〕となり、年間の過去最高を更新。同港に隣接する花王酒田工場の紙おむつ輸出が好調のため。（河北新報）  １１月　５日　ＪＲ酒田駅を東西につなぐ地下道で、同市や遊佐町の中高生が描いた絵を飾る「地下道アートギャラリー」が展示され、開所式。（山形新聞）  １１月　５日　酒田市顕彰式。〔功労表彰：平田羽山、星川功、本間清和、故佐藤好久、小野健一　市民表彰：阿部忠義、八柳宏栄、阿部重敏、阿部和雄、池田義晴、万里の松原に親しむ会、酒田市農業賞：石川敏行、阿部博明〕（酒田市広報）  １１月　７日　酒田市新田産業奨励賞授賞式。〔庄内酒彩倶楽部、新栄水産有限会社〕〔ガーデンパレスみずほ〕（酒田市広報）  １１月　８日　海洋生物の観察・保全活動を展開しているＮＰＯ法人「みなと研究会」は酒田北港内の通称・水路にハタハタの産卵床を設置。（荘内日報）  １１月　８日　中村ものづくり事業１０周年記念「米村でんじろうおもしろサイエンスショー」。〔公益ホール〕（酒田市広報）  １１月　９日　東京都の国立オリンピック記念青少年総合センターで行われた「第３６回少年の主張全国大会」で、第六中学校３年菅原すみれさんが２位にあたる文部科学大臣賞に輝く。（酒田市広報）  １１月　９日　酒田「小さな親切」の会は酒田市でボランティア活動を展開している３団体・企業に対し、「小さな親切実行章」を贈った。（荘内日報）  １１月　９日　第４５回酒田市民俗芸能公演会「民俗芸能フェスタ」。〔希望ホール〕（荘内日報）  １１月１０日　市とスワンタクシーは災害時に同社が所有する電気自動車のタクシーが避難所で電力を供給する協定を結ぶ。（山形新聞）  １１月１１日　政府検討会の推計で地震発生から１分で津波が押し寄せるとされた飛島で、地震・津波防災を考える講演会。（河北新報）  １１月１２日　「女性のためのライフプラン講座」公益研修センターで開かれ、「婚活」の提唱者で少子化ジャーナリストの白川桃子氏の講演。（荘内日報）  １１月１３日　一條地区社会福祉協議会が主催する「ふれあい給食事業」が行われた。〔一條コミュニティセンター〕（山形新聞）  １１月１６日　第２回八幡民俗芸能公演会が八幡タウンセンターで開催。（酒田市広報）  １１月１７日　日本治山治水協会、日本林道協会主催の「治山・林道コンクール」の林道維持管理コンクール部門で本市が農林水産大臣賞〔全国３市町〕を受賞。（酒田市広報）  １１月１８日　酒田調理師専門学校の西洋料理講師で、庄内ＤＥＣクラブ会長の阿部三喜夫氏〔５３〕＝飛鳥＝が本年度の調理師養成功労者厚生労働大臣表彰。（山形新聞）  １１月２０日　酒田警察署において、酒田市暴力追放推進協議会が暴力排除宣言を提出。（酒田市広報）  １１月２０日　本市で活躍したデザイナーで、詩人の佐藤十弥氏が作品を寄贈。（酒田市広報）  １１月２１日　市と酒田商工会議所が表彰する第４２回永年功労技能者表彰式が酒田産業会館で行われた。（酒田市広報）  １１月２１日　酒田市人口減少問題対策本部の第２回会合。〔市役所〕（荘内日報）  １１月２２日　「湊町酒田の景観まちづくりフォーラム」〔マリーン５清水屋〕（山形新聞）  １１月２２日　屋内アイススケート場「スワンスケートリンク」が営業開始。翌年３月８日まで営業。（山形新聞）  １１月２２日　「第３６回全国豊かな海づくり大会」式典会場決定記念講演会。〔酒田産業会館〕（荘内日報）  １１月２５日　入院治療により公務を離れていた本間正巳市長が復帰。（酒田市広報）  １１月２６日　コーヒーストアで全国展開する「スターバックス　コーヒー　ジャパン」は庄内地方で初の店舗として「スターバックスコーヒー酒田みずほ店」をオープン。（荘内日報）  １１月２６日　酒田「小さな親切」の会は、デイサービス眺海とみすみ指定通所介護事業所の２カ所に車いすやプランターなどを贈った。（山形新聞）  １１月２９日　約３０年間にわたり世界の著名人らの墓参りを続けている「墓マイラ―」こと、文芸研究家のカジポン・マルコ・残月氏の講演会。〔酒田市総合文化センター〕（荘内日報）  １２月　４日　酒田駅前暫定駐車場にある酒田大獅子が３６００個のＬＥＤ電球で飾りつけ。（酒田市広報）  １２月　４日　日本損害保険協会が本市に小型動力ポンプ付軽消防自動車を寄贈。消防自動車は女性消防団発祥の地でもある飛島に配備。（酒田市広報）  １２月１２日　山形県と本市が誘致した株式会社プレステージ・インターナショナルが本市を拠点とする女子バレーボール部の設立を発表。（酒田市広報）  １２月１６日　株式会社弦巻から生活保護世帯の入学児童にランドセルの寄贈。６２年前から対象者に毎年寄贈されている。（酒田市広報）  １２月１９日　市制定の本年度環境衛生功労者への感謝状贈呈式。〔酒田市総合文化センター〕（荘内日報）  １２月２２日　故相馬大作の酒田市特別名誉市民顕彰式。〔ガーデンパレスみずほ〕（酒田市広報）  １２月２２日　丸高歴史文化財団の平成２６年度助成金の贈呈式。同財団は１９４６年創業の建設会社・丸高が５０周年記念事業として設立。（山形新聞）  １２月２２日　浜中の海岸にパナマ船籍の貨物船「Ｍ・ＳＴＡＲ・１」が座礁。（荘内日報）  １２月２３日　庄内の松林の保全などを考える。「第１０回クロマツシンポジウム」。〔ひらたタウンセンター〕（山形新聞）  １２月２３日　「飛島学講座」。〔酒田市総合文化センター〕（荘内日報）  １２月２６日　庄内北部定住自立圏形成協定調印式。酒田市と三川町、庄内町、遊佐町が同協定を締結。（酒田市広報）  １２月３０日　ＪＲ酒田駅前にある大獅子の両脇に門松を設置する作業が行われ、駅前のシンボルマークが正月の装い。（山形新聞）  　１月　５日　平田地域の飛鳥神社で、江戸時代中期に始まったとされる「裸詣り」。地元の男衆が下帯姿で冷水を浴び、五穀豊穣や無病息災などを祈願。（荘内日報）  　１月　６日　一條の八幡神社で早朝、古くから続く神事「鬼やらい」。氏子たちが独特の掛け声に合わせて欅の枝を床にたたきつけ、同年一年の災厄を払った。（荘内日報）  　１月１０日　「第５４回私の街写真コンテスト」の表彰式。〔土門拳記念館〕（荘内日報）  　１月１４日　酒田地区広域行政組合消防本部の職員による「酒田地区消防音楽隊」のコンサートが一條コミュニティセンタ－で開かれ、華麗な音色を管内に響かせた。（荘内日報）  １月１５日　市はセルポール工業株式会社と松山工業団地の土地の分譲について合意、契約調印式。（酒田市広報）  １月１５日　「やわた百人一首かるた大会」が八幡タウンセンターであり、愛好者約１５０人が熱戦を展開。旧八幡町時代から開かれ２０回目。（荘内日報）  １月１６日　市税滞納整理で差し押さえた旧酒田短期大学の土地、建物について、同市の宗教法人瑞相寺（齋藤善明住職）が期日入札に応じ、落札。（山形新聞）  １月１７日　平田牧場グループ会長新田嘉一会長〔８１〕が河北文化賞を受賞、贈呈式。（荘内日報）  １月１８日　市で活動する声楽家や合唱団が美しい歌声を披露する「ホットほっとコンサート」。〔松山文化伝承館〕（山形新聞）  １月１８日　「新春ミュージアムコンサート」。〔酒田市美術館〕（山形新聞）  　１月１９日　心のふるさと新井田川の会は環境省が水・土壌環境の保全に係る分野で貢献された方々を顕彰する平成２６年度水・土壌保全活動功労者表彰を受賞し、市長に報告。（酒田市広報）  　１月２１日　松山歴史公園内に松山城址館が完成竣工式。（酒田市広報）  　１月２４日　飛島診療所の野口健一医師〔５５〕が２月末付で退任。（朝日新聞）  １月２４日・２５日　旬を迎えた寒鱈汁を味わう「酒田日本海寒鱈まつり」。〔中通り商店街・中町モールを中心に〕（荘内日報）  １月２５日　世界の料理２０１５。〔交流ひろば〕（酒田市広報）  　１月２５日　消防出初め式。〔マリーン５清水屋前〕（酒田市広報）  　１月２７日　市農業再生協議会の総会〔ホテルリッチ&ガーデン酒田〕で開かれ、平成２７年産米の生産数量目標の配分案を了承。（荘内日報）  　１月２８日　在日本朝鮮人総連合会中央本部の土地建物を約２２億円で落札した不動産業マルナカデイングス（高松市）が、不動産会社「グリーンフォーリスト」（酒田市）に４４億円で転売契約。（山形新聞）  　１月３０日・３１日　「八幡・東村児童交流の翼」事業で沖縄県東村の児童らが八幡地域を訪問。（荘内日報）  　１月３１日・２月１日　第６７回全庄内スキー選手権大会。（酒田市広報）  　２月　３日　衣料品販売のしまむらは大規模小売店舗立地法に基づき、東大町一丁目に「酒田ファッションモール」を新設する計画を県に届け出。１０月開店を目指す。（山形新聞）  　２月　４日　「鉄道講演会」がホテルリッチ&ガーデン酒田で開催。（酒田市広報）  　２月　４日　飛島、前年１１月以降、不在となった常勤看護婦２人に関しては、１人が２月１日から勤務、もう１人が４月から配置される見通し。（山形新聞）  　２月　４日　国内のアマチュア写真家を対象にした第２１回土門拳文化賞の選考結果を発表。最高賞の文化賞は千葉県栄町の主婦坂巻ちず子氏。（荘内日報）  　２月　５日　東北公益文科大学と鶴岡工業高等専門学校は、学術交流・地域貢献に関する協定書を締結。（荘内日報）  　２月　６日　一條地区在住の女性達で組織する「一條地区女性の会」が主催した健康講座。〔一條コミュニティセンター〕（荘内日報）  　２月　６日　新井田川の環境整備などに取り組む「心のふるさと新井田川の会」の総会。〔市地域福祉センター〕（山形新聞）  　２月　９日　荘内銀行の「地域に根差した市民活動を支援するセミナー２０１５」が山形グランドホテルで開かれ、公益信託荘内銀行ふるさと創造基金「地域貢献大賞」を生涯学習施設「里仁館」に贈った。（荘内日報）  　２月　９日　平成２６年度酒田市教育委員会科学賞表彰式。〔中町庁舎〕（酒田市広報）  　２月１１日　「旧阿部家」の「小正月」。３０回目。（荘内日報）  　２月１３日　日本海の低気圧が急速に発達しながら東北地方を通過した影響で荒れた天候になった。飛島では２月として観測史上最大瞬間風速４５．３ｍ〔午前６時３２分〕の猛烈な風が吹いた。（山形新聞）  　２月１４日　酒田ユネスコ協会のチャリティコンサート「童謡を歌う会」。〔酒田市総合文化センター〕（荘内日報）  　２月１５日・１７日　黒森地区に江戸時代中期から伝わる農民芸能「黒森歌舞伎」の正月公演。〔黒森日枝神社〕（山形新聞）  　２月１６日　本市と酒田市石油協会は災害時の応急対策、救助活動が円滑に行われるよう、ガソリン等燃料の供給に関する協定を締結。（酒田市広報）  　２月１９日　飛島の防災通信システムを従来の電話回線方式から、国が割り当てる電波帯〔地域振興波〕を使う東北では初めてのエリアトーク無線方式に変更。（山形新聞）  ２月２０日　酒田の大獅子に、黒色、赤色、青色、ピンク色の可愛い赤ちゃん８体が誕生しました。名前は募集中で、酒田まつりで発表予定。（酒田市広報）  ２月２０日　青少年育成団体でつくる「市青少年を伸ばそう市民会議」の会員研修会。〔琢成学区コミュニティ防災センター〕（荘内日報）  　２月２１日　酒田地区の郷土史家らでつくる酒田古文書同好会は、発足５０周年を記念した機関紙「方寸」第１４号を発刊。出版記念祝賀会を市内で開き、関連テーマで講演。（荘内日報）  　２月２１日　中学校新聞の部で第四中学校の「酒四中新聞」が全国１位の内閣総理大臣賞に輝いた。（荘内日報）  　２月２２日　酒田商工会議所女性会が酒田市伝統のつるし飾り「傘福」を並べる「湊町酒田の傘福」が「山王くらぶ」で始まった。同年で１０回目。（山形新聞）  　２月２６日　第６０回山形県市町村広報コンクール組み写真の部において、市広報「私の街さかた」平成２６年６月２日号「酒田まつり」が県の最高賞の特選に選ばれた。（酒田市広報）  　２月２６日　高麗海運株式会社の回路改編により、酒田港―釜山港国際定期コンテナ航路が週２便から週３便へと増便となり、増便された船舶が初入港。現在就航されている長綿〔チャングム〕商船株式会社の週１便と合わせて、酒田港の定期コンテナ航路は週４便。（酒田市広報）  　２月２７日　ホイール・タイヤ関連用品などを販売する株式会社ホリ・コーポレーションが京田西工業団地に立地決定。（酒田市広報）  　２月２７日　異業種交流グループ「タブノキ会」の第３０回例会。〔料亭香梅咲〕（荘内日報）  　２月２８日　松山地域の商店主らで組織する「松山特産品開発連携研究会」が主催したイベント「松山うめもののれん街」。〔松山城址館〕（荘内日報）  　２月末　　　中心商店街の活性化や農林水産業の振興を目的に、市などが平成２４年度から中町で運営する「さかた中町〔まんなか〕マルシェ」閉店。（山形新聞）  　３月　６日　酒田看護専門学校卒業式〔酒田市総合文化センター〕（酒田市広報）  　３月　６日　建築用ステンレス等の配管・付属部品の製造加工のパイプ・ラインエンジニアリング株式会社が京田西工業団地に立地決定。（酒田市広報）  　３月　６日　「酒田駅前景観シンポジウム」。〔ル・ポットフー〕（荘内日報）  　３月　６日　酒田ライオンズクラブは、今春、小学校に入学する全ての新１年生用にランドセルカバー８５０枚を市に寄贈。（荘内日報）  　３月６日～８日　本市と交流のある武蔵野市の市民交流団２１人が酒田を訪れた。（酒田市広報）  　３月　７日　「酒田米黒びょうせん推進事業」の表彰式〔玉姫殿〕１０個人３団体。（荘内日報）  ３月　８日　第２１回酒田市土門拳文化賞受賞式。（酒田市広報）  ３月　８日　酒田市山岳遭難対策委員会研修会。〔鳥海高原家族旅行村周辺〕（山形新聞）  ３月　９日　県内初のＤＭＡＴ救急車が、日本海総合病院に整備された。ＤＭＡT救急車は大災害発生時などに災害派遣医療チーム（山形ＤＭＡＴ）　が現場で迅速に医療救護活動を行うための機能や機材を備えた専用車両。（酒田市広報）  ３月　９日　資生堂執行役員常務で「酒田ふるさと観光大使」の関根近子氏の講演会。〔酒田産業会館〕（荘内日報）  ３月　９日　東北公益文科大学は、中国黒竜江省の「佳木斯〔チャムス〕市技工学校」との間で交流協定を締結。（荘内日報）  ３月１２日　芸術の各分野で優れた業績を挙げた個人に贈る平成２６年度芸術選奨の文部科学大臣賞に、酒田市出身の写真家・美術家で東京芸術大教授の佐藤時啓氏が選ばれた。（山形新聞）  　３月１４日　子育て応援講演会・家庭教育講演会・男女共同参画推進市民フォーラム“酒田で楽しい結婚・出産・子育て応援講演会”講師：尾木直樹氏。（酒田市広報）  　３月１５日　空手世界選手権組手６８キロ級覇者で、全日本選手権２連覇中の染谷香了選手を招いた指導者講習会・強化練習会。〔天真学園高〕（山形新聞）  　３月１６日　酒田市子ども・子育て会議は諮問を受け協議して来た市子ども・子育て支援事業計画素案を市に答申。（山形新聞）  ３月１７日　産業機械、配管機器・材料などを販売する株式会社大谷商會が京田西工業団地に立地決定。（酒田市広報）  ３月１９日　河川維持や環境保全活動を自発的に行っている民間団体を支援する国土交通省の「河川協力制度」で、最上川水系京田川で活動を展開している県ボート協会が指定を受け指定証を授与。〔国土交通省酒田河川国道事務所〕（荘内日報）  ３月１９日　仕事の面白さと人生の可能性を考えるトークイベント「酒田モシェノ大学」が開演〔第１回ヤマガタ未来ラボ代表の田中麻衣子講演〕。〔相生町二丁目のライブハウス・酒田ミュージックファクトリー〕（山形新聞）  ３月２１日　東北公益文科大学卒業式・大学院修了式〔公益大公益ホール〕学部生１４２人、修了生８人。（荘内日報）  ３月２１日　酒田海洋少年団の修了式。〔酒田市総合文化センター〕（酒田市広報）  ３月２２日　酒田市凧揚げ大会が最上川河川公園で開かれ、参加者が自慢のたこを大空に飛ばして順位を競った。（山形新聞）  ３月２３日　旧東平田小跡地に整備が進められていた地域密着型特別養護老人ホームあずまが完成し、開所式。（山形新聞）  ３月２４日　市は災害時の被災者やボランティア、物資の緊急輸送に関する協定を松山観光バスと協定。（山形新聞）  ３月２４日　鳥海山・飛島ジオパーク構想推進協議会設立。（酒田市広報）  ３月２５日　鳥海山の噴火に備え、対策を検討する「鳥海山火山防災協議会」の初会合が酒田勤労者福祉センターで開かれた。火山泥流などが居住地まで達する場合の防災対策や避難計画などを平成２８年までに決め、これらを盛り込んだ火山防災マップを作成するなどのスケジュールを確認。（山形新聞）  ３月２６日　庄内北部定住自立圏形成推進会議が開催され、これまで２回開催された共生ビジョン懇談会で出された意見を反映した「庄内北部定住圏共生ビジョン」が全会一致で承認。（酒田市広報）  ３月３１日　市の派遣職員辞令交付式〔市役所〕庄内北部定住自立圏形成に基づき平成２７年度から相互交流を始める庄内、遊佐両町など、市からの派遣、受け入れの各職員に辞令書。（山形新聞）  ４月　１日　子育て支援医療費の通院費無料の対策を中学３年生まで拡大。（酒田市広報）  ４月　４日　日和山公園の池に浮かぶ千石船「日和丸」、１３００万円をかけリニューアル。新たに桟橋が取り付けられ、乗船出来るようになった。（山形新聞）  ４月　５日　見ごろを迎えた春の山野草を楽しむ「早春の山野草観察会」。〔八森自然公園〕（荘内日報）  ４月　５日　新たにパイプオルガンが設置された酒田キリスト教会で設置記念の奉献演奏礼拝。（荘内日報）  ４月　６日　県立産業技術短期大学校庄内校の入学式〔同校体育館〕新入生３０人が地域産業に貢献する決意を新たに入学。（荘内日報）  ４月　８日　酒田地区日中友好協会の平成２７年度中国語講座の開講式。〔東北公益文科大〕（山形新聞）  ４月　９日　緑のふるさと協力隊の木原直人さんに酒田市地域おこし協力隊の委嘱状交付。氏は離島の多い長崎県出身で、翌年３月まで飛島で地域おこしや島の人に暮らしをお手伝い。（酒田市広報）  ４月１２日　一輪車愛好団体「酒田ユニサイクル・ケセラ」の演技発表会。〔平田タウンセンター・シアター〕（荘内日報）  ４月１３日　東北公益文科大学の学生や酒田商工会議所女性会、主婦らが参加して「酒田市民おもてなし隊」が結成。（朝日新聞）  ４月１４日　山形県警の新しい海上警備艇「はぐろ」の運用開始式〔酒田港〕新艇導入は２１年ぶり、航行速度は向上し、飛島まで４０分。（荘内日報）  ４月１５日　庄内地域の活性化を視野に、ＩＴ関連技術者を養成する講座「ウエストコーストアカデミー」が開講。（荘内日報）  　４月１５日・１６日　酒田市定期船「とびしま」が臨時欠航。４月６日の運行中に損傷したプロペラを交換するため。（荘内日報）  　４月１６日　市が資本金の半額を出資する第三セクター「鳥海やわた観光」は、従来より一層滑らかな食感と濃厚な味わいに仕上げた新商品「鳥海高原ヨーグルト」を発売。（毎日新聞）  　４月１７日　市を訪れる観光客に利用してもらおうと、荘内ガスは観光用自転車１０台を市に寄贈。（山形新聞）  ４月１８日　光ケ丘陸上競技場に、雨天でも陸上競技の練習が出来る屋内走路が完成。１２４ｍの長さは屋内走路として東北最長。（酒田市広報）  ４月１８日　酒田ユネスコ協会が主催する国際理解講演会〔酒田市総合文化センター〕気象庁技術専門官で第５０次南極越冬隊員を務めた小森智秀氏が「南極このすばらしき地球遺産」と題して講演。（荘内日報）  ４月１８日　体操教室「アテネ体操クラブ」などを主宰する体操競技指導者、星川恵美氏が東北体操協会ジュニア体操連盟会長に就任。（荘内日報）  ４月１８日・１９日　城下町の面影を残す松山地域の歴史に触れるイベント「花の城下町松山探訪」。〔松山歴史公園など〕（山形新聞）  ４月１９日　第５０回酒田市クロスカントリー大会。（酒田市広報）  ４月１９日　春の市民茶会。〔出羽遊心館〕（山形新聞）  ４月２２日　本楯コミュニティセンターで無火災１０００日表彰式。（酒田市広報）  ４月２４日　山形デスティネーションキャンペーン酒田推進協議会総会。〔酒田産業会館〕（酒田市広報）  ４月２７日　旧松山町出身の音楽家・本間充氏＝東京都世田谷区在住＝の傘寿記念コンサート。〔東京都渋谷区白寿ホール〕（荘内日報）  ４月２８日　升田の名瀑・玉簾の滝で夜間のライトアップが始まる。〔５月６日まで〕（荘内日報）  　４月２８日　「全国ねぎサミット２０１５in酒田」の実行委員会設立総会〔酒田産業会館〕東北で初の実施。（荘内日報）  　４月２９日　飛島にある飲食店「しまかへ」が本年度の営業開始。１０月中旬まで、イカやワカメなど地場産品を用いた食事を味わえる。（河北新報）  ４月２９日　市は、乗車無料の「週末運行観光周遊バス」を始めた。（朝日新聞）  ４月２９日　市内の茶道愛好者が野外で抹茶を振る舞う。「桜まつり茶会」〔山王森〕（荘内日報）  ５月　１日　一条の八幡神社で古くから伝わる神事「流鏑馬」が行われた。（荘内日報）  ５月　３日　松山文化伝承館で甲冑の着付け体験。（荘内日報）  ５月　３日　陸上競技の静岡国際が静岡スタジアムで行われ、女子４００ｍで佐藤日奈子選手〔大東大・酒田南高出身〕が５４秒７０で優勝。（山形新聞）  ５月　５日　酒田市教育委員会が制定する子ども会育成功労者に対する感謝状の贈呈式。〔勤労者福祉センター〕（荘内日報）  ５月　８日　酒田市教育委員会の「子供の命を守る安全教育推進会議」の初会合。〔中町庁舎〕（荘内日報）  ５月　９日　市中心部を歩いて探索するイベント「ぶら探酒田」。〔日和山公園発着〕（荘内日報）  ５月　９日　酒田緑の少年団入団式。〔酒田市総合文化センター〕（酒田市広報）  ５月　９日　「ねんりんピック『おいでませ！山口２０１５』」卓球交流大会県予選で優勝。  　　　　　　７０歳以上の部佐藤文治さん〔７７〕＝東泉町＝、６０歳以上の部松田文雄さん〔６２〕＝一條＝（荘内日報）  ５月　９日　酒田市自治会連合会の本年度総会。（荘内日報）  ５月１２日　酒田人権擁護委員会協議会の本年度総会〔玉姫殿〕新会長に遠田健一氏を選任。（荘内日報）  ５月１４日　酒田港の利用拡大に向けた官民連携組織「プロスパーポートさかた」ポートセールス協議会の本年度総会。〔希望ホール〕（荘内日報）  ５月１４日　酒田ふれあい商工会通常総会。〔平田農村環境改善センター〕（荘内日報）  ５月１９日　秋田市長が酒田市役所を訪れ、本市と秋田市で交流提携書を締結。（酒田市広報）  ５月１９日　林建設工業前社長で工学博士の林有一郎氏〔７３〕＝浜田＝が企業の経営現場で使う、「管理会社」と決算書作成時などに使う「財務会計」を橋渡しする分かりやすい会計方法を考案し、特許を取得。（荘内日報）  ５月１９日～２１日　酒田まつり。約２２万人の見物客。（酒田市広報）  ５月２０日　２月に”誕生”した赤ちゃん獅子計８頭の名前が決まった。山車行列に加わり、市民に愛嬌を振りまいた。山居倉庫：黒「けん」赤「こめ」、本間美術館：黒「丘〔きゅう〕」赤「陽〔はる〕」、酒田産業会館：青「宙〔そら〕」桃「輝［きら］」、交流ひろば：青「福〔ふく〕」桃「笑〔えみ〕」。  ５月２０日　県は酒田港の国際定期コンテナ航路が現在の週４便から５便に増便。（荘内日報）  ５月２２日　県港湾協会と酒田港港湾振興会の本年度合同総会。〔酒田勤労者福祉センター〕（荘内日報）  ５月２２日　酒田飽海地区の高齢者らを対象にした自転車交通安全教室「シルバー輪リンスクール」。〔出羽自動車教習所〕（荘内日報）  ５月２３日・２４日　第４８回日本女子ソフトボールリーグ山形大会。〔光ケ丘野球場〕（酒田市広報）  ５月２４日　北港緑地公園で酒田市消防春季消防演習。（酒田市広報）  ５月２４日　松原小学校体育館で、松原学区学童保育所新築竣工記念式典。（酒田市広報）  ５月２５日　平成２７年４月に施行された改正地方教育行政法にも届く酒田市総合教育会議が開催。第１回となる今回は「酒田市教育等に関する施策の大綱（案）」に関する協議と本市の教育を取り巻く様々な課題に関する意見交換など。（酒田市広報）  ５月２６日　酒田市交通安全推進協議会、同市暴力追放推進協議会の合同総会。〔市民会館〕（荘内日報）  ５月２６日　酒田市自治会連合会連絡協議会総会。（荘内日報）  ５月３１日　松山地域の出身者でつくる「東京松山会」の総会・懇親会。〔東京グリーンパレス〕（荘内日報）  ６月　１日　酒田産業会館で、第１回酒田市まち・ひと・しごと創生総合戦略委員会が開催。（酒田市広報）  ６月　１日　プレステージ・インターナショナル女子バレーボールチームの監督就任記者会見及びチーム名・ユニホームの発表〔山形ＢＰＯガーデン〕チーム名はイタリア語でオレンジと海を意味する造語で「Aranmare」アランマーレ。（酒田市広報）  ６月　６日　県船友漁労長会所属のイカ釣り船団を見送る出航式。〔酒田港〕（山形新聞）  ６月　６日　第１回県中学生少林寺拳法大会。〔酒田光陵高〕（山形新聞）  ６月　７日　八幡地域出身者でつくるふるさと会「庄内やわた会」の総会・懇親会。〔東京都北区の北とぴあ〕（荘内日報）  ６月　９日　ゴルフ用品メーカーの本間ゴルフ〔東京〕は酒田工場で海外の取引先、販売代理店を対象にした初の見学会。（山形新聞）  ６月　９日　東部中学区が２カ年、県警察本部、県教育委員会などによる「少年非行防止ネットワーク事業」のモデル学区の指定。同事業の推進協議会「東部中オアシスネットワーク」の発足式。〔南平田コミュニティセンター〕（荘内日報）  ６月１０日　酒田港の国際定期コンテナ航路が増便され、週６便化になると発表。新規就航便は韓国・釜山の他、中国の上海、寧波などに寄港。（山形新聞）  ６月１３日　飛島の若者や漁師らが運営する「島の駅とびしま」が開店。（荘内日報）  ６月１３日　陸羽西線酒田駅開業１００周年記念イベント。〔ＪＲ酒田駅〕（荘内日報）  ６月１４日　「犬猫ふれあい会」。〔酒田北港緑地公園〕（荘内日報）  ６月１４日　官民一体で酒田港の利用拡大を目指す”プロスパーポートさかた”ポートセールス協議会の総会。〔酒田市民会館〕（山形新聞）  ６月１５日　酒田市の日本海総合病院が平成２７年度「自治体立優良病院表彰」を授賞。〔東京都内ホテル〕（毎日新聞）  ６月２０日　県ダンススポーツ連盟庄内支部が主催する「初夏のダンスフェスタ」が酒田市総合文化センターで開催。（山形新聞）  ６月２０日　県漁業協同組合の合併５０周年記念式典。〔ホテルリッチ&ガーデン酒田〕（荘内日報）  ６月２０日　松山地域のまちづくりを推進する特定非営利活動法人「まちづくりnet松山」の設立祝賀会。〔松山城址館〕（荘内日報）  ６月２０日～８月３０日　山谷〔旧平田町〕出身の彫刻家・石黒光二氏＝埼玉県所沢市＝の彫刻展が松山伝承館で始まり、ギャラリートーク。（荘内日報）  ６月２１日　酒田と遊佐、秋田県のにかほ、由利本荘の４市町が取り組む「鳥海山・飛島ジオパーク構想」について、初の市民向け入門講座。〔公益研修センター〕（山形新聞）  ６月２２日　国際協力機構〔ＪＩＣＡ〕 の青年海外協力隊としてアフリカに派遣される本間史野氏と佐藤昴洋氏の２人が市役所を表敬訪問し、抱負を語った。（荘内日報）  ６月２２日　酒田地区広域行政組合消防本部は無火災１０００日を達成した北平田地区と黒森地区を表彰。（荘内日報）  ６月２３日　「さかた女流地域づくり塾」が酒田市総合文化センターで開塾。地域の基幹産業としての農業の活性化に向け、市内の農家・非農家の女性達が交流しながら新たな商品・サービスの提案、魅力ある地域づくにつなげていく。（荘内日報）  ６月２４日　酒田警察署サイバーテロ対策協議会の総会。〔酒田警察署〕（荘内日報）  ６月２４日　酒田湊ロータリークラブは教育委員会などに環境について学ぶ書籍２８冊を寄贈。（荘内日報）  ６月２４日　居酒屋「三代目兵六玉」を経営しているライフコア・シラサキが第３０回みなと酒田トライアスロンおしんレース実行委員会に運営資金として現金を寄贈。（荘内日報）  ６月２５日　国道、県道、市町村道の管理者らで組織する「県道路メンテナンス会議」の橋梁長寿命化総合研修が市内で開かれた。（荘内日報）  ６月２５日　観光シーズンが本格化する夏場を前に、飛島と酒田港を結ぶ定期船「とびしま」の火災を想定した海難救助訓練。〔酒田沖〕（山形新聞）  ６月２６日　市とヤマト運輸山形主管支店は大規模災害発生時の物資輸送や物資拠点の運営に関する協定を結んだ。県内では１４自治体目の締結。（山形新聞）  ６月２６日　酒田市明るい選挙推進協議会。〔中町庁舎〕（荘内日報）  ６月２７日　県内有数の規模を誇る飯森山公園あじさい園で夜間ライトアップ開始。前年初めて好評を博した事を受けて同年も行うもの。８月１２日まで。〈荘内日報〉  ６月２８日　第３０回「みなと酒田トライアスロンおしんレース」。〔酒田市北港多目的グラウンド〕（山形新聞）  ６月２８日　酒田東高の東京同窓会「東京亀城会」の創立５０周年記念・平成２７年度総会・懇親会。〔大手町サンケイプラザ〕（荘内日報）  ６月２８日　荘内日報社主催の第３９回囲碁二段位獲得戦が日本棋院酒田支部で行われ、伊原吉明〔８５〕が優勝。（荘内日報）  ６月２９日　産学官連携のオール酒田による「市長期観光戦略」策定に向け、市観光戦略会議の初会合。（荘内日報）  ６月２９日　酒田地区安全運転管理者協議会総会〔ベルナール酒田〕交通安全に尽力した４０個人９事業所を表彰。（荘内日報）  ６月２９日　酒田地区防犯協会連合会総会〔酒田市総合文化センター〕功労のあった１団体５個人を表彰。（荘内日報）  ６月３０日　生命の尊さの象徴とされる広島市の被爆アオギリ２世：平和の木の苗が飯森山公園内に植樹される。（山形新聞）  ６月３０日　酒田警察署は嘱託警察犬、指導手に対する嘱託交付式。県内で初となるトイプードルの嘱託犬「ポッキー」をはじめ７頭と指導手３人に対し激励。（荘内日報）  ７月　１日　ジャスコ酒田駅前店跡地の整備事業に絡み、市は１日から対話型市場調査の公募を開始。（山形新聞）  ７月　１日　第３７回読売写真大賞ファミリー部門「春の部」で、県内から若宮町の阿蘇和夫氏の「突風」が入選。（読売新聞）  ７月　２日　県公安委員会は任期満了に伴い、新委員長に前田直己委員を互選。（荘内日報）  ７月　４日　酒田市水難救助合同訓練。〔大浜海岸〕（荘内日報）  ７月　４日　第７０回国民体育大会兼第４２回東北総合体育大会の県予選会で、相撲成年個人は小野寺貴史選手〔第二中学校講師〕が８年連続で頂点。（山形新聞）  ７月　５日　日本ジオパークの認定を目指す「鳥海山・飛島ジオパーク構想推進協議会」は来訪客に地質を守る意識などを伝える「ジオガイド」の養成講座を開催。（毎日新聞）  ７月　６日　姉妹都市・ロシアのジェレズノゴルスク・イリムスキー市を１４日から訪問する酒田市使節団の結団式。〔市役所〕（荘内日報）  ７月　７日　酒田市公益財団法人は青少年向けパンフレットを改定し、地区内の全中学１年生に寄贈。（荘内日報）  ７月　７日　漁業関係業界からの暴力団排除を進めようと、県漁業協同組合は暴力団排除を結成、酒田、鶴岡両警察署に対して「暴力団追放三ない運動」を実践するなどとした排除宣言書を提出。（荘内日報）  ７月　９日　酒田市美術館は開館して１８年。来館者数が１００万人を突破。（荘内日報）  ７月１０日　酒田看護専門学校の宣誓式。〔勤労者福祉センター〕（荘内日報）  ７月１１日　松山スキー場人工ゲレンデがオープン。１１月２９日まで。（山形新聞）  ７月１１日　本県唯一の重要港湾・酒田港の魅力を探る「２０１５発見探検隊」。（山形新聞）  ７月１１日　酒田市自治会連合会連絡協議会は、地元の商工、農林業団体などと連携し、「山形新幹線庄内延伸の早期実現」を求める署名活動。８月１５日まで５万人を目標に吉村美栄子知事に提出。（荘内日報）  ７月１３日　松美町の上林鉄工所の創業６０周年と新本社工場竣工を祝う祝賀会。〔ル・ポットフ―〕（荘内日報）  ７月１５日　市は経済的な事情で大学に進学せず、同市に採用された新人職員について、給与を受け取りながら地元の東北公益文科大学で学ぶことが出来る修学制度を設置。（朝日新聞）  ７月１５日　米国テキサス州サンアントニオ市で８月１６日～２２日に開かれる「第４回世界ろう者水泳選手権大会」に日本代表として出場する県立酒田特別支援学校中学部３年齋藤京夏が市役所を表敬訪問。（荘内日報）  ７月１７日　腎機能障害のため１１日から日本海総合病院に入院している本間正巳市長は、本間清和後援会長と面会し、市長職を辞任する意向。（山形新聞）  ７月１７日　江戸時代から明治中期にかけて酒田市などの港町を結んだ北前船のネットワークを現代によみがえらせ、未来につなげる「北前船寄港地フォーラムが大阪市の太閤園で開かれ、同フォーラム名誉会長の新田嘉一平田牧場会長に観光庁長官から感謝状が贈られた。（山形新聞）  ７月１７日　国土交通省の建設事業関係功労者の酒田河川国道事務所表彰式。水門等水位観測員６人を顕彰。（山形新聞）  ７月２０日　本間正巳酒田市長が咽頭がんのため日本海総合病院で死去。享年６８歳。（山形新聞）  ７月２０日　酒田市美術館の開館以来の入館者が１００万人に達し記念セレモニーが行われ、節目の入館者に記念品が贈られた。（荘内日報）  ７月２１日　宮海海水浴場沖合で大型のサメが目撃され、県庄内総合支庁は日本海沿岸３市町の海水浴場１１カ所に対し、遊泳喚起情報。（朝日新聞）  ７月２１日　第三セクター「酒田まちづくり開発」が中町二丁目の柳小路沿いに建設する「酒田柳小路『北前横町』屋台村」の地鎮祭。（荘内日報）  ７月２１日　「酒田観光タクシー」が破産決定。（朝日新聞）  ７月２２日　巨大なケーソン〔潜函＝縦２５ｍ、横２３ｍ、高さ２０ｍ〕が２隻の引き船に引かれて酒田港内をゆっくり移動、港から２～３キロ沖にある第二北防波堤の先端に設置。（朝日新聞）  ７月２３日　広島市の平和記念公園内「原爆の子の像」にささげるため、八幡小学校の児童達が作った１３００羽の折り鶴が市に託された。（荘内日報）  ７月２３日　集団的自衛権の行使を可能とする安全保障関連法案が衆議院を通過したことを受け、この法案に反対する集会とデモ行進。〔中央公園など〕（荘内日報）  ７月２４日　全国商工会連合副会長を務める大商金山牧場の小野木覺会長は酒田市の東北公益文科大学に対し１００万円を寄贈。（荘内日報）  ７月２６日　県などが主催する「鳥海山火山防災講演会」。〔東北公益文科大キャンパス〕（山形新聞）  ７月２６日　「２０１５みなとオアシスまつり」が酒田海洋センター周辺で開催。（荘内日報）  ７月２６日　「みなとカヤックツーリング」が酒田本港発着で開催。（荘内日報）  ７月２６日　東京・江戸川区陸上競技場を会場に開催された「２０１５さわやか全国一輪車競技大会・トラックレース部門」で田沢っ子こぐぞ～クラブ大活躍。３部門で優勝。（荘内日報）  ７月２９日　産業振興貢献企業表彰式〔産業会館〕県外企業２社に感謝状。（荘内日報）  ７月３０日　酒田市行財政改革推進委員会が市民会館で開かれ、新行財政集中改革プランを踏まえた次期計画の方向性を協議し、年内に策定することを確認。（山形新聞）  ７月３０日　女優の室井滋、絵本作家の長谷川義史ら「しげちゃん一座」を招いた絵本トーク&ライブ。〔ガーデンパレスみずほ〕（山形新聞）  ７月３１日　夏の風物詩「酒田港まつり」が開幕（。山形新聞）  ７月３１日　海上自衛隊の護衛艦「あたご」が酒田北港に初入港。一般公開。（山形新聞）  ７月３１日～８月２日　市は移住促進に向け、若竹町二丁目に空き家を活用した移住体験施設「ショウナイベース」を開設。（荘内日報）  ７月３１日～８月４日　エジプトの「王家の谷」をテーマにした巨大迷路。〔酒田市総合文化センター〕（山形新聞）  ８月　１日　酒田港まつりのクライマックスイベント「酒田花火ショー」。〔最上川河川公園〕山形新聞）  ８月　２日　上山市の蔵王坊平アスリートビレッジで開催された第１８回山形県ジュニア駅伝競走大会で酒田市代表チームが大活躍。男子チームは２年ぶりの優勝、女子チームは準優勝。（酒田市広報）  ８月２日～７日　米国ロサンゼルス在住の日系４世の中学生達が５泊６日の日程で市を訪れ、バスケットボールの試合や日本文化の体験を通じ、地元の中学生やその家族らと交流。（荘内日報）  ８月　３日　戦後７０年の節目に、平和への願いを被害地に届けようと、市内小中学生らが作った折り鶴約２万羽が市に寄せられ、広島市に発送した。（山形新聞）  ８月　３日　「第３５回全日本バレーボール小学生大会」に出場する「十坂バレーボールスポーツ少年団」の選手達が市役所を表敬訪問。（荘内日報）  ８月　５日　「酒田市まち・ひと・しごと創生総合戦略委員会」の第２回会合。〔希望ホール〕（荘内日報）  ８月　５日　酒田地区雇用対策協議会は３市町の高校生を対象に開催した模擬面接会。〔酒田市総合文化センター〕（山形新聞）  ８月　６日　タイのバンコクで２２日開催される空手道の第１回アジア・オセアニア選手権大会に日本代表として出場する市内の小中高生らが市役所を訪れ、決意を披露。（山形新聞）  ８月　６日　「羽州荘内松山藩荻野流砲術隊」（市指定無形文化財）など全国３１の砲術隊が前年９月、熊本県芦北町で挑戦した「２５１人による火縄銃の一斉空射撃」がギネス世界記録に認定され、このほど同砲術隊に参加証明書が届いた。関係者が市教育委員会を表敬訪問、快挙達成を報告。（荘内日報）  ８月　７日　酒田市雇用創造協議会が同市産の農水産物を使って進めている新商品開発で、新たに「ライスミルク」４種と「みそ汁５種」のレシピを公開。（荘内日報）  ８月　８日　平和の尊さや命の大切さを考える酒田市の「手と手をつなごう平和のつどい」が酒田市総合文化センターで開催。（荘内日報）  ８月　８日　中町二丁目のマリーン５清水屋エントランスで「街かどコンサート」が開かれ、合唱や管弦楽、三味線など市内の音楽団体が歌声や演奏を響かせ、訪れた買い物客らを魅了。（荘内日報）  ８月　８日　大規模災害発生時の救急医療体制強化に向けて県は庄内空港で初の「災害時医療救護訓練」を実施。（荘内日報）  ８月　８日　西郷隆盛の遺徳を顕彰する公益財団法人「庄内南洲会」の講座南洲会館で開催。  　　　　　　講演：東山昭子氏。（荘内日報）  ８月　９日　相撲の全国都道府県中学生選手権は両国国技館で行い、県勢は個人無差別級で齋藤大輔さん（第一中学校）が頂点に立った。（山形新聞）  ８月１０日　大沢地区が無火災２０００日を達成し、大沢コミュニティ振興会が酒田地区広域行政組合消防本部から表彰。（山形新聞）  ８月１０日　庄内地域の野球ジュニア世代の育成を願い、平田牧場の新田嘉一会長が優勝杯を寄贈した「新田カップ庄内中学校野球選手権大会」は決勝で鳥海八幡中学校が遊佐中学校を５－２で破り優勝。（荘内日報）  ８月１１日　酒田市衛生組織連合会総会〔酒田勤労者福祉センター〕平成２７年度事業計画、役員改選、会長に佐藤信行新任。（山形新聞）  ８月１２日　県内一の落差〔６３ｍ〕を誇る升田の「玉簾の滝」で恒例のライトアップが始まる。（山形新聞）  ８月１３日　酒田市美術館で開催中の特別企画展「段ボール遊園地」の入館者数が１万人を突破。（山形新聞）  ８月１４日　大通り商店街で、夕方恒例の「酒田燈篭まつり」が開催。（荘内日報）  ８月１５日　黒森地区に伝わる農民芸能「黒森歌舞伎」のお面開きと、１０年ぶりの夏歌舞伎。〔黒森歌舞伎演舞場〕（荘内日報）  ８月１６日　東北公益文科大学の教員らとお茶や菓子を楽しみながら英会話に親しむ「イングリッシュカフェ」。〔交流ひろば〕（山形新聞）  ８月１７日　地域おこし協力隊委嘱状交付式。山楯の佐藤美和さん、日向地区の活性化に向けて活動を取り組む。（荘内日報）  ８月１９日　酒田市教育委員会は鳥海小学校と南遊佐小学校を統合する方針を決めた。平成２９年度を目指す。（山形新聞）  ８月１９日　飛島の洞窟「テキ穴」前で落石。（読売新聞）  ８月２０日　特産の「刈屋梨」の出荷目揃え会。〔ＪＡ庄内みどり北部選果場〕（荘内日報）  ８月２０日　松山地域の皇大神社で、県無形民俗文化財「松山能」が奉納。（山形新聞）  ８月２１日　２９日に堺市で開かれる「第１３回世界ジュニア相撲選手権大会」の中量級日本代表に選出された酒田光陵高１年生、秋葉拓さんが酒田市役所を表敬訪問。（山形新聞）  ８月２１日　酒田市合併１０周年を記念したオリジナルフレーム切手が製作され、庄内地方の全郵便局で販売が開始。（荘内日報）  ８月２１日～２４日　酒田市ひらたファームステイが行われ、田園調布学園中等部２年生〔２００人〕がホームステイしながら農村の生活を送った。（山形新聞）  ８月２２日　前酒田市長本間正巳氏市民葬。〔希望ホール〕（読売新聞）  ８月２３日　地域がん診療連携拠点病院公開講座。〔ホテルリッチ&ガーデン酒田〕（山形新聞）  ８月２３日　市が開発を進めて来た枝豆の新品種「あねちゃまめ」の販売開始。〔みどりの里山居館〕（山形新聞）  ８月２４日　酒田港の国際コンテナ航路開設から同年で２０年を迎え、ガーデンパレスみずほで記念式典と酒田港ポートセミナー。（山形新聞）  ８月２６日　「組織のタイムセミナー」が中町庁舎で開かれ、参加者は業務改善のための手法を学んだ。（山形新聞）  ８月２７日　多彩なゲストを迎え、仕事や人生について話を聞くトークイベント第１１回「酒田モシェノ大学」。〔ライブハウス「酒田ＭＵＳＩＣ　ＦＡＣＴＯＲＹ」〕（荘内日報）  ８月２７日　日本最大級の豪華客船「飛鳥Ⅱ」が酒田市に寄港。（山形新聞）  ８月２７日　建設関連に従事する若手人材の確保などを目的に、県建設業協会酒田支部青年部と県庄内総合支庁は、「高校生と若手教育具術者の意見交換会」を酒田建設会館で開催。（荘内日報）  ８月２９日　酒田米菓は両羽町の本社最上川工場を観光工場としてオープン。主力商品の名称から「オランダせんべいＦＡＣＴＯＲＹ(ファクトリー)　」とし、製造過程が見学できるほか、カフェスペースを併用。（山形新聞）  ８月２９日　「神秘のアマゾン展」（写真展）がさかた街中キャンパスで開始。（山形新聞）  ９月　３日　酒田商工会議所会頭で東北銘醸社長の佐藤淳司氏が県産業賞。（荘内日報）  ９月　４日　第１７回日本海沿岸東北自動車道〔日沿道〕建設促進フォーラム。〔希望ホール〕〔記念講演：津川雅彦氏〕（荘内日報）  ９月　６日　地域の若者を元気にする活動に取り組む「もちもち大学」の市民講座「２１世紀カブ主講座」が酒田市二輪車専門店・鈴木モータースで開催。（山形新聞）  ９月　６日　酒田市長選挙投開票。丸山至氏初当選。（山形新聞）  ９月　６日　酒田市出身のシンガーソングライター・枝璃〔えり、旧姓富樫〕貴子〔都内在住〕のギター弾き語りコンサート。〔酒田市総合文化センター〕（荘内日報）  ９月　６日　第５９回酒田市民芸術祭の開幕式典・公演。（荘内日報）  ９月　７日　酒田市長に丸山至氏が就任。（酒田市広報）  ９月　８日　世界ジュニア相撲選手権大会で優勝した酒田光陵高の秋葉拓選手と全国都道府県中学生相撲選手権大会で優勝した第一中学校の齋藤大輔選手が県庁を表敬訪問。（荘内日報）  ９月１０日　「北平田おばけカボチャコンテスト」。〔北平田コミュニティセンター〕（山形新聞）  ９月１１日　外国からの観光誘客（インバウンド）増加に向けた「みちのくインバウンド推進協議会」がこのほど設立総会。〔ホテルリッチ&ガーデン酒田〕（荘内日報）  ９月１５日　「刈屋梨」の香港向け輸出出荷式。（毎日新聞）  ９月１８日　酒田市のＪＡ全農山形本部「山居倉庫」で新米の初出荷式。主力米「はえぬき」約２７トンを積んだトラックが出発。（毎日新聞）  ９月１８日　和歌山で開催される第７０回国民体育大会「紀の国わかやま国体」に出場する酒田市選手団の壮行会。〔市陸上競技場〕（荘内日報）  ９月２０日　秋季東北地区高校野球県大会で酒田南高３年ぶり優勝。（荘内日報）  ９月２３日　「西郷南洲〔隆盛〕翁の大徳を偲ぶ会」が南洲会館で開かれ、講話などを通じ、西郷の教えを地域や国づくりに生かしていく決意。（荘内日報）  ９月２４日　医療法人山容会が浜松町で建設を進めて来た「山容病院」の新病院が完成、診療開始。（荘内日報）  ９月２４日　山形新幹線の庄内延伸を目指す「陸羽西線高速化促進市町村連絡協議会」の総会。８年ぶりに開催。（山形新聞）  ９月２６日　錦心流琵琶全国一水会酒田支部の「第６１回秋の琵琶楽発表会」。〔酒田市総合文化センター〕（荘内日報）  ９月２８日　市は１０月１日、農林水産部に新たに部長級ポストの「農政調整監」を設ける。  　　　　　　農林水産省北陸農政局から農政調整監が着任することを発表。（読売新聞）  ９月２９日　和泉流野村万蔵家一門による「能・狂言ワークショップ」と特別公演。〔松山城址館〕（荘内日報）  ９月３０日　新型機に更新したばかりの県防災ヘリ「もがみ」が登山客の救助のため初出動。（読売新聞）  ９月３０日　鳥海山初冠雪。前年より１５日早く、過去１０年の平均より１０日程早い。（朝日新聞）  １０月　３日　第３回酒田市まち・ひと・しごと創生総合戦略委員会。〔酒田産業会館〕（酒田市広報）  １０月３日・４日　酒田市の企業の技術や商品を広く紹介する「さかた産業フェア２０１５」。〔市体育館〕（荘内日報）  １０月　４日　一輪車クラブ「山形田沢っ子こぐぞ～クラブ」が、さわやか２０１５静岡オープン一輪車競技大会のリレー競技２種目で優勝。（山形新聞）  １０月　７日　陸上女子走り幅跳び日本記録保持者で、北京五輪出場の井村〔旧姓池田〕久美子氏＝酒田市出身＝を招いた講演会が鳥海八幡中学校で開かれた。（山形新聞）  １０月　９日　全国地域安全運動に合わせ、ＪＲ酒田駅を東西につなぐ地下道に開設されている「地下ギャラリー」に作品が展示替えされ、開所式。（山形新聞）  １０月　９日　本年度の市新田産業奨励賞を農機具製造・販売の「美善」と、「ＪＲ庄内みどりストック専門部」の１企業１団体に贈る。〔授賞式２９日〕（荘内日報）  １０月１０日　酒田市民交流推進室が主催した「アメリカＤＡＹ－酒田でアメリカ文化にふれてみよう」。〔市交流ひろば〕（荘内日報）  １０月１０日　酒田柳小路屋台村「北前横丁」の内覧会。１５日オープン。（山形新聞）  １０月１１日　２０回目の節目を迎えた音楽教室「備前加奈子音楽スタジオ」の発表会「母のぬくもり」。〔酒田市総合文化センター〕（荘内日報）  １０月１２日　第１２回日本海旗争奪高校剣道大会〔国体記念体育館〕男子は酒田光陵高が２年ぶり優勝。（山形新聞）  １０月１３日　アメリカ合衆国オハイオ州デラウェア市へ訪問する酒田市使節団の結団式。（酒田市広報）  １０月１４日　田沢川ダムまつり。（荘内日報）  １０月１５日　管工事業「パイプ・ラインエンジニアリング」が京田西工業団地に整備を進めていた酒田工場完成竣工記念式典。（山形新聞）  １０月１５日　高齢者福祉サービスの「福祉のひろば」が中町一丁目の旧イワマビルに整備していた多世代共生施設「てとて中町」が完成、オープン。（荘内日報）  １０月１６日　市表彰条例に基づく特別功労表彰受賞者に、写真家で酒田市土門拳文化賞審査員の江成常夫氏＝相模原市＝　功労表彰、農業賞、市民表彰の計４表彰制度の受賞者を発表し、１６個人が選ばれた。（山形新聞）  １０月１６日　県民福祉大会。〔希望ホール〕（山形新聞）  １０月１８日　第４回酒田シティハーフマラソン―酒田つや姫マラソン大会。〔ゲストランナー：佐藤弘道〕（酒田市広報）  １０月１８日　興行を通して地域活性化に一役買っているプロレス団体「大日本プロレス〔ＢＪＷ〕」の「酒田港インターコンチネンタルタッグ選手権チャリテイ―大会」。〔酒田みなと市場特設リング〕（荘内日報）  １０月２０日　酒田建設業協会への青色防犯パトロール隊委嘱状交付と出発式。（荘内日報）  １０月２１日　交流人口拡大を目的に、市が本年度中の策定を目指す中長期の観光戦略について、計画案を議論する市観光戦略推進協議会。〔中町庁舎〕（荘内日報）  １０月２３日　酒田商工会議所の平成２７年度優良商工従業員表彰式〔ガーデンパレスみずほ〕永年勤続者７３人顕彰。（山形新聞）  １０月２３日　土門拳記念館は平成２８年版土門拳オリジナルカレンダー「土門拳の風景」を販売。（荘内日報）  １０月２５日　県庄内管内市町合同地震・津波避難訓練の実施に伴い、市内全域で８時頃緊急速報メールが配信。（山形新聞）  １０月２９日　新田産業奨励賞記念講演会。〔公益ホール〕（荘内日報）  １０月２９日　市の中学生海外派遣事業「はばたき」の出発式〔庄内空港〕選抜された２２人が米国オハイオ州に向かった。（荘内日報）  １０月３０日　地域高規格道路「新庄酒田道路」の一部を構成する戸沢村古口の「高屋道路」の起工式。（山形新聞）  １０月３０日　市は地方人口ビジョンと地方版総合戦略を策定。２０６０年の人口を７万５千人程度と設定。本県唯一の重要港湾・酒田港を活用した産業振興、東北公益文科大学との連携による「大学まちづくり」の推進、県土の一体感醸成を目指した山形新幹線庄内延伸の実現などを総合戦略に盛り込んだ。（山形新聞）  １０月３０日　観光施設「相馬楼」の「舞娘弁当」が、開館に以来１５年ぶりにリニューアル。提供開始前に同所で試食会。（山形新聞）  １０月３１日・１１月１日　「全国ねぎサミット２０１５in酒田」〔国体記念体育館〕１４府県２１自治体参加。（山形新聞）  １０月３１日・１１月１日　炊くと枝豆に似た香りがする不思議なモチ米「酒田まめほの香」が飯森山一帯で開催される「やまがた庄内・農山魚食まつり」で一般向けのデビュー。（朝日新聞）  １１月　１日　翌年９月に開催される「第３６回全国豊かな海づくり大会」の１年前プレイベントin酒田。〔公益ホール〕（山形新聞）  １１月　１日　酒田市合併１０周年記念を迎え、翌年で庄内空港２５周年を迎えることを記念し、市は庄内空港の利用者に酒田産米をプレゼントし、米どころのＰＲ。（山形新聞）  １１月　２日　ＪＡ山形農工連は、経営環境の変化に対応するため、ＪＡ庄内みどりの子会社「みどりサービス」に全事業を譲渡することを決め、本所で譲渡契約を締結。（山形新聞）  １１月　２日　市内に本社か人事担当部署を置く事業所を対象に、就職情報提供サイト利用経費の２分の１〔上限５０万円〕を支給する制度を始めた。（河北新報）  １１月　２日　「酒田市公益のまちづくり賞」の贈呈式〔市役所〕１個人２団体。（荘内日報）  １１月　３日　第６１回県産業賞は、酒田商工会議所会頭で東北銘醸代表取締役社長の佐藤淳司氏〔６８〕が受賞。（荘内日報）  １１月　６日　新酒田市合併１０周年記念式典〔希望ホール〕（山形新聞）  １１月　６日　全国地方独立行政法人病院協議会総会。〔ホテルリッチ&ガーデン酒田〕（山形新聞）  １１月　７日　酒田第六中学校創立３０周年記念式典。（山形新聞）  １１月　７日　屋内スケート場「スワンスケートリンク」が市営体育館内にオープン。（荘内日報）  １１月　８日　八幡地域に伝承されている「八幡民俗芸能公演会」〔八幡タウンセンター交流ホール〕地域内外の民俗芸能保存会メンバーが神楽や獅子舞など計６団体が出演。（荘内日報）  １１月　９日　台湾テレビ〔台湾電視公司〕の取材クルー６人が東北地方の見どころを紹介するテレビ番組取材の一環で庄内に入り、相馬楼で撮影を行った。山形編は翌年早々に台湾全土で放送。（荘内日報）  １１月１０日　八幡地域をモデル地域に同年６・７月に実証実験が行われた、徘徊高齢者の移動ルートなどを一定程度特定するシステム「さかた見守りくん」の報告会。〔市地域福祉センター〕（荘内日報）  １１月１０日　酒田市前田福祉賞と市社会福祉協議会表彰の平成２７年度表彰式。〔市地域福祉センター〕（山形新聞）  １１月１１日　市の本年度の市民表彰授賞式。故人を含む１１人受賞。〔ベルナール酒田〕（荘内日報）  １１月１１日　本年度市の農業賞授賞式。〔ベルナール酒田〕朝井肇氏＝広野＝、佐藤陽一氏＝坂野辺新田＝の２個人（荘内日報）  １１月１３日　酒田市いじめ問題対策連絡協議会の初会合。〔中町庁舎〕行政や学校、自治会、警察などから１５人の委員を委嘱。（毎日新聞）  １１月１３日　「歌舞伎フォーラム講演」。〔希望ホール〕（山形新聞）  １１月１４日　国道４７号「余目酒田道路」の新堀―東町間５．９キロ開通。（荘内日報）  １１月１４日　平田牧場は東京都世田谷区の商業施設「玉川高島屋ショッピングセンター」地下１階に直販店をオープン。（山形新聞）  １１月１４日　市民ボランティアによる「砂防林を育てよう」が飯森山西地区で行われ、参加者がクロマツ林の枝打ちを実施。（山形新聞）  １１月１４日　酒田光陵高の東京同窓会〔紫紺会〕の第６８回総会・懇親会。〔東京都新宿区〕（荘内日報）  １１月１５日　女子バレーボールのＶチャレンジリーグ２酒田市をホームタウンとする「プレステージ・インターナショナルアランマーレ」は、群馬県大泉町のいずみ総合公園町民体育館でブレス浜松と対戦。最終セットまでもつれたが競り勝ち、初勝利。（毎日新聞）  １１月１７日　平成２９年４月の統合を目指す鳥海小学校と南遊佐小学校の統合準備委員会の第１回会合。〔酒田市北部農業組合〕（山形新聞）  １１月１９日　国土交通省酒田河川国道事務所の酒田国道維持出張所、市の除雪車出動式。（山形新聞）  １１月１９日　第３２回県女子駅伝競走大会に出場する酒田・飽海チームの壮行会。〔酒田市民会館〕（山形新聞）  １１月１９日　第３７回庄内文化賞の授賞式。（荘内日報）  １１月２０日　元銀行役員、宗雄司氏〔７３〕が江戸期の酒田湊を舞台にした自作の短編時代小説集「酒田湊の御用帳」シリーズを出版。（荘内日報）  １１月２０日　酒田市議会は、新議長に後藤仁氏、副議長に関井美喜男氏を選出・就任。（荘内日報）  １１月２２日　第３２回県女子駅伝競走大会、上山市―山形市間の５区間２０．５キロでレースを行い、酒田・飽海が１時間８分４０秒のタイムで、２年ぶり７度目の優勝。（山形新聞）  １１月２２日　八幡地域特産の飲むヨーグルト「鳥海高原ヨーグルト」を使った料理コンテスト。〔八幡タウンセンター〕（荘内日報）  １１月２３日　国土交通省酒田港湾事務所は、酒田港第２北防波堤に設置するため製作を進めているケーソン〔鉄筋コンクリート製の箱〕を作業台船「フローティングドック（ＦＤ）」から引き出す作業を公開。（荘内日報）  １１月２４日　酒田市中長期観光戦略の策定に向けた市観光戦略会議の第２回会合。〔市役所〕（荘内日報）  １１月２５日　酒田商工会議所と市による「酒田未来塾シンポジウム」。〔公益ホール〕（荘内日報）  １１月２６日　酒田市総合教育会議の平成２７年度２回会合。〔中町庁舎〕（山形新聞）  １１月２６日　酒田市、酒田商工会議所が主催する永年功労技能者表彰式〔酒田産業会館〕平成２７年度被表彰者１１人。（山形新聞）  １１月２６日　東北電力酒田営業所とユアテック酒田営業所は、酒田市にＬＥＤ型防犯灯７基を寄贈。５年ぶりに復活。（荘内日報）  １１月２７日　丸山至市長と地域の若者が意見交換する交流会。〔公益研修センター〕（山形新聞）  １１月２７日　庄内商工中金会などが主催する講演会。〔講師：田部井淳子氏〕〔ベルナール酒田〕（山形新聞）  １１月２７日　酒田法人会は、翌年度税政改正に関する提言書を市当局と市議会に提出。（山形新聞）  １１月２７日　機械設備と電気・計装設備の「東北電機鉄工」は創立７０周年を記念し、市にベビーカーや車椅子などを寄贈。（荘内日報）  １１月３０日　東北電力「つばさの会」主催の講演会。〔酒田市総合文化センター〕（山形新聞）  １１月３０日　長年にわたり人権擁護活動に尽力したとして、人権擁護委員で元高校長、小松紀一氏〔７５〕に法務大臣表彰の伝達。（荘内日報）  １２月　１日　市は水産食料品製造業「山形飛鳥」が京田西工業団地に進出すると発表し、市役所で土地売買仮契約調印式。（山形新聞）  １２月　１日　酒田港の魅力を食やスポーツなどの切り口で考える「やまがた女みなとフォーラム」。〔白鷹町文化交流センターあゆーむ〕（山形新聞）  １２月　１日　県は酒田港も国際定期コンテナ便のうち、中国大連・天津航路が休止する一方、韓国釜山航路が１２月から週２便増えて６便運航を発表。中国上海航路を含む週７便態勢は、平成７年の国際コンテナ航路開設以来最多。（河北新聞）  １２月　３日　酒田飽海地区ふれ愛募金会の贈呈式〔市役所〕「風っこの会」に活動資金として贈られた。（荘内日報）  １２月　４日　荘内日報社の第３２回歳末助け合い酒田芸能大会。〔希望ホール〕（荘内日報）  １２月　５日　市の中学生海外派遣事業「はばたき」の報告会。〔酒田市総合文化センター〕（山形新聞）  １２月　６日　新そばを楽しむ「松山そばまつり」〔松山農村環境改善センターと内郷コミュニティセンター〕これまで地区毎に別々に企画していたそばまつりをはじめて一本化して開催。（山形新聞）  １２月　６日　共同利用のオフィス「コワーキング（協働）スペース」の運営者らが集う「コワーサミット」公益研修センターで初めて開催。（山形新聞）  １２月　６日　アテネ幼稚園、アテネ乳幼児センターを運営する学校法人アテネ学園の創立５０周年記念式典。〔ベルナール酒田〕（荘内日報）  １２月　６日　酒田市出身者などでつくる首都圏のふるさと会「ふれあい酒田」の第１８回総会・懇親会。〔東京都北区「北とぴあ」〕（荘内日報）  １２月　７日　総合繊維製品卸業「弦巻」は、市内の生活保護世帯のうち、小学校に来春入学する子ども向けにランドセルを寄贈。（山形新聞）  １２月　７日　京田二丁目の運送会社「エイエスエムトランスポート」が市の助成を受け、車両のボディーに「酒田まつり」の絵を描いたラッピングトラックを製作、  　　　　　　　同社でお披露目。「走る広告塔」となって全国を走り、まつりをＰＲ。（荘内日報）  １２月　７日　実業家ら女性による奉仕団体「国際ソロプチミスト酒田」は青少年育成資金としてチャリティディナーショーの収益金の一部を市に寄贈。（荘内日報）  １２月　８日　市主催の「酒田で楽しい結婚・出産・子育て応援講演会」〔市民会館〕尾花沢市出身のプロサッカー指導者佐々木則夫氏が「夢と出会いが力に」と題して講演。（山形新聞）  １２月１０日　多彩なゲストを迎え、地元で暮らす魅力などを語るトークイベント「酒田モシェノ大学」の第１８回が相生町二丁目のライブハウス「酒田ミュージックファクトリー」で開催。（荘内日報）  １２月１０日　女子ゴルフの国内ツアーで７勝を挙げ、男子を含め日本ツアー史上最高額で初の賞金女王に輝いた韓国出身のプロゴルファーのイ・ボミ選手が愛用のクラブを製造する本間ゴルフ酒田工場を訪問。（山形新聞）  １２月１１日　学校法人天真林昌学園は同法人が市内で運営する酒田南・天真学園の両校を統合し、平成３０年度に新高校を開校する。（山形新聞）  １２月１１日　酒田市青少年を伸ばそう市民会議が主催した意見交換会。〔県立酒田西高同窓会館〕（荘内日報）  １２月１３日　酒田市民芸術祭参加・県民芸術祭参加の酒田のダンスの祭典、第７回「ハッピィーダンスフェスティバル２０１５」。〔酒田市民会館〕（荘内日報）  １２月１５日　５月からインターネットサービス大手「楽天」の支援で、ネット通販のノウハウを学んで来た酒田光陵高の生徒達が、同校で学びの成果を発表。１１月半ばに９チームがネット販売を始め、約１ヵ月間で約４０万円を売り上げたチームもあるなど、楽天担当者が「素晴らしい」と絶賛。（荘内日報）  １２月１８日　市議会は空席となっていた副市長に東北公益文科大学教授の矢口明子氏を充てる人事案に同意。（朝日新聞）  １２月１８日　市は、市立八幡病院を県・酒田市病院機構に統合し、入院患者を受け入れない「無床」の診療所にする方針。（山形新聞）  １２月１８日　酒販店など７事業所でつくる「庄内酒彩倶楽部」は、市特産の刈屋梨を１００％使用した微発泡性の果実酒「梨のデアノイエ」を発売。（山形新聞）  １２月１８日　八幡地域在住の一人暮らし高齢者が集う「むつみ会」のクリスマス会。〔八幡タウンセンター〕（荘内日報）  １２月２０日　海洋生物の保全活動の取り組んでいるＮＰＯ法人・みなと研究会などが主催する「鰰（はたはた）まつり」。〔市地域福祉センター〕（荘内日報）  １２月２０日　住民の話を聞く「ふるさと対話集会」。自民党前総務会長の野田聖子衆院議員が庄内の女性や農家らと車座になり意見交換。〔生石公会堂〕（山形新聞）  １２月２０日　県産業賞受賞祝賀会。〔産業会館〕（山形新聞）  １２月２０日　平成２６年に亡くなった酒田市出身の詩人・吉野弘にスポットを当てた「私たちを励ます　吉野弘の言葉」。〔公益ホール〕〔講演：アナウンサーの山根基世氏〕（荘内日報）  １２月２１日　荘内銀行の「東部酒田支店」が平田総合支所内にオープン。従来の松山支店と平田支店を統合・移転したもの。（荘内日報）  １２月２１日　酒田市の環境衛生功労者感謝状贈呈式。〔市民健康センター〕（荘内日報）  １２月２１日　酒田「小さな親切」の会は酒田、庄内両市町でボランティア活動を展開している６団体・企業・学校に対し、「小さな親切実行章」を贈った。（荘内日報）  １２月２１日　県内では長く絶滅したとされていたが近年生息範囲を拡大しているイノシシの姿が、草津の鳥海南麓で撮影。（山形新聞）  １２月２３日　市が現庁舎敷地内に整備を進めていた新庁舎の１期工事が完了し、現地で完成披露会と市民見学会。（山形新聞）  １２月２４日　世界で活躍できる人材育成を目的に、文部科学省が進める「スーパーグローバルハイスクール〔ＳＧＨ〕 」の指定校を目指す酒田東高等は東北公益文科大学と協定を締結。（山形新聞）  １２月２４日　第２回酒田市観光戦略会議・推進協議会合同会議。（酒田市広報）  １２月２５日　庄内みどり農業協同組合、酒田市袖浦農業協同組合、全国共済農業協同組合連合会から本市にカーブミラー１４基が寄贈。昭和４８年より同団体から毎年寄贈されたカーブミラーは合計で９９４基。（酒田市広報）  １２月２６日　第２回酒田市総合教育会議。〔中町庁舎〕（酒田市広報）  １２月２７日　創立７０周年を迎える東北電機鉄工株式会社より、新庁舎で使用するキッズコーナー用プレイサークル、ベビーカー、車椅子が寄贈。（酒田市広報）  １２月２８日　酒田市役所旧庁舎閉庁。旧庁舎は、昭和３９年に完成。以来５１年間本市の変化を見守ってきた。（酒田市広報）  １２月３０日　東北・北海道で唯一、営業を続けて来た酒田市のグランドキャバレー「ナイトスポット白ばら」が閉店。（山形新聞） |